平成30年度　戸塚区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

（単位：千円）

事業計画書番号	事業名	30年度		29年度		増△減（30－29）	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	区役所職員人材育成事業	600	600	630	630	△ 30	△ 30
2	区民に身近な広聴・相談事業	4,432	4,432	6,547	6,547	△ 2,115	△ 2,115
3	効果的で分かりやすい広報事業	12,531	10,835	11,049	9,353	1,482	1,482
4	区制80周年記念関連事業	2,000	2,000	0	0	2,000	2,000
5	歴史を生かしたまち育て事業	174	174	672	672	△ 498	△ 498
6	とつかブランド向上事業	720	720	650	650	70	70
7	とつか環境未来エコライフ事業	1,600	1,600	2,000	2,000	△ 400	△ 400
8	都市計画マスタープラン 地区プランの改定事業	660	660	2,570	2,570	△ 1,910	△ 1,910
9	とつかものづくり支援事業	1,855	1,855	1,563	1,563	292	292
10	活気あるとつか商店街支援事業	600	600	1,510	1,510	△ 910	△ 910
11	とつか花できれいなまちづくり事業	1,070	1,070	0	0	1,070	1,070
12	とつか地域づくり支援事業	500	500	1,050	1,050	△ 550	△ 550
13	美化推進事業	3,733	3,733	3,329	3,329	404	404
14	戸塚区民まつり事業	3,221	3,221	3,250	3,250	△ 29	△ 29
15	自治会町内会連絡調整事業	2,418	2,418	2,415	2,415	3	3
16	かしこい消費生活事業	905	905	865	865	40	40
17	とつか魅力再発見事業	1,095	770	741	286	354	484
18	「災害に強いまちとつか」に向けた防災・減災強化事業	7,058	7,058	6,965	6,965	93	93
19	防犯力強化事業	4,560	4,560	4,786	4,786	△ 226	△ 226
20	交通安全・放置自転車対策事業	5,134	5,134	5,388	5,388	△ 254	△ 254
21	区民活動支援事業	8,212	8,212	8,123	8,123	89	89
22	地域文化振興事業	1,300	1,300	1,500	1,500	△ 200	△ 200
23	とつか音楽の街づくり事業	3,000	3,000	1,800	1,800	1,200	1,200
24	スポーツ・レクリエーション振興事業	2,769	2,769	3,969	3,969	△ 1,200	△ 1,200
25	区内女子スポーツ普及・応援事業	1,560	1,560	1,210	1,210	350	350
26	青少年健全育成事業	1,620	1,620	1,620	1,620	0	0

（単位：千円）

事業計画書番号	事業名	30年度		29年度		増△減（30－29）	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
27	青少年指導員活動支援事業	4,360	4,360	3,131	3,131	1,229	1,229
28	子育て応援事業	4,571	4,571	4,941	4,941	△ 370	△ 370
29	保育所地域子育てパワーアップ事業	1,722	1,662	1,918	1,858	△ 196	△ 196
30	子どもを取り巻く虐待予防環境づくり事業	1,794	1,794	2,699	2,699	△ 905	△ 905
31	とつかの子育て応援ルーム「とことこ」運営事業	6,402	6,402	5,492	5,492	910	910
32	学校・家庭・地域協働事業	1,010	1,010	1,010	1,010	0	0
33	とつか健康パワーアップ事業	1,549	1,549	1,068	1,068	481	481
34	がんについて考えよう～とつかがん対策事業～	980	980	700	700	280	280
35	大学と連携した子ども健康づくり事業	1,198	1,198	1,000	1,000	198	198
36	子育て家庭のヘルスアップ事業	841	841	950	950	△ 109	△ 109
37	とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）推進事業	4,341	4,341	3,009	3,009	1,332	1,332
38	～地域で支える～こころの健康福祉ネットワーク事業	983	983	990	990	△ 7	△ 7
39	戸塚区高齢者見守りネットワーク事業	2,072	2,072	2,078	2,078	△ 6	△ 6
40	快適な暮らし応援事業～食の安全・生活衛生の強化～	517	517	610	610	△ 93	△ 93

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　　総務　　課］

No.	1

予算区分	区役所総務費 区役所総務費	性質・課題区分	窓口サービス向上 その他	事業開始年度	平成６年度

事　業　名
区役所職員人材育成事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	1
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本　年　度	600					600
前　年　度	630					630
増△減	△ 30	0	0	0	0	△ 30

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	920	920	940
	メリット＋一般財源	920	920	940
決算	事業費	1,017	950	931
	メリット＋一般財源	1,017	950	931

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	630	630
	一般財源	630	630

方針に関する決裁　種別（　　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	〈職員研修〉業務に必要な知識やサービス向上のための方法を学び区民サービスの向上を図る。 〈人権啓発推進事業〉区民及び職員を対象に人権講演会及び人権啓発研修を実施し「一人ひとりの市民が人権を尊重しあい、ともに生きる社会の実現」を目指す。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	5　区民アンケート		
地域の課題等				

毎年実施している窓口サービス満足度調査結果を分析していますので、その結果を分析し継続的にサービス向上を図ります。また、地域向けの人権啓発講演会時にアンケートを実施し、区民の人権に対するニーズ等を把握していますので、継続して啓発していきます。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「きめ細やかなサービスによる親しまれる区役所づくり」
3　根拠法令・要綱等	横浜市職員研修規定第８条、横浜市人権啓発基本方針、横浜市人権啓発研修推進要綱

【実績の推移・今後見込み】

《窓口サービス満足度調査結果》

	職員のあいさつ	職員の身だしなみ	職員の言葉づかい	職員の説明	待ち時間の長さ	待合場所の快適さ
26年度	87.0%	81.3%	88.7%	84.3%	80.7%	95.3%
27年度	97.0%	95.0%	98.0%	93.6%	92.7%	97.7%
28年度	97.3%	97.0%	98.3%	96.7%	95.0%	98.7%

※数字はアンケート回答内の「満足」「やや満足」を合計した値

《戸塚区人権啓発講演会》

（単位：人）

	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績
参加人数	270	227	186	257	254
講師	赤石　千衣子さん（NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長）	横田　滋・早紀江御夫妻（拉致被害者家族）	マリ・クリスティーヌ（女性の目でみたまちづくり）	安川　雅史さん（子どもたちや地域社会を取り巻くネット環境）	二條　実穂さん（車椅子テニス選手）

【実施内容】

《職員研修》

・人材育成研修：サービスを提供する職員のスキルアップを図るための研修に向けた業務知識向上のための研修を実施（通年）

・業務知識向上研修：専門職職員の業務知識向上研修を実施（通年）

《人権啓発推進事業》

・人権啓発講演会:区民を対象にした講演会を実施(2月予定)

・責任職等人権研修:責任職対象の人権研修と、責任職による職員対象研修の実施(6月～1月予定)

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
職員研修	自	332	自	362	△ 30	庁内講師の活用による講師費用の減
人権啓発推進事業	自	268	自	268	0	前年度同額
					0	
事業費合計		600		630	△ 30	
内訳 自主企画事業費		600		630	△ 30	
内訳 重点事業		0		0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務　係
	齋藤　真美奈	金森　裕一	松村　歩未

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書　【 自主企画事業費 】

［　戸塚　区　区政推進　課］

No.	2

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成17年度

事　業　名
区民に身近な広聴・相談事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	2
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	4,432					4,432
前　年　度	6,547					6,547
増△減	△ 2,115	0	0	0	0	△ 2,115

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	4,324	4,452	4,452
	メリット＋一般財源	4,324	4,452	4,452
決算	事業費	3,741	5,569	4,249
	メリット＋一般財源	3,741	5,569	4,249

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	4,432	4,432
	一般財源	4,432	4,432

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	区民からの要望、陳情などの広聴事業により市政への反映、多岐にわたる区民相談に的確に対応するとともに、団体や企業との情報交換と協働推進のため、区長の事業所訪問について引き続き実施します。 また、「区政モニター」の活用を通じて区民のニーズを的確に把握します。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	5　区民アンケート	8　その他	

地域の課題等

・法律的な問題を抱えた区民の方々に対して、解決の糸口をつかむための機会を提供する必要があります。
・戸塚区総合庁舎は、区役所機能だけでなく、区民文化センターや行政サービスコーナー、ジョブスポット等、様々な機能を持った総合庁舎であり、地下３階から９階までの各階に様々な部署や機能が複雑に盛り込まれています。そのため、来庁者がスムーズに目的の場所にたどり着けるよう、引き続き充実した庁舎案内を進める必要があります。
・地域の課題等を経年的に収集し、中長期的な視点で施策を実施する必要があります。
・日頃区役所との関わりが少ない若年層の意識や区政へのご意見を積極的に収集し、区の施策の参考とする必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「きめ細やかなサービスによる親しまれる区役所づくり」
3　根拠法令・要綱等	「市民の声」事業の実施に関する取扱要綱、区における総合行政の推進に関する規則□

【実績の推移・今後見込み】

・区民相談事業
　法律相談は、区民の皆様からのニーズが高く、26年度は相談予約の希望をいただいた日から５～６週間後の予約しか受け付けることができない状況にあったので、27年度からは例年実施されてきた毎週金曜日の午後に加え、隔週火曜日の午後も相談を実施し、相談回数を増やしました。結果として、混雑状況の緩和につながったので、30年度も同様の頻度で実施する予定です。

（単位：回）

	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度予定	30年度予定
法律相談回数	49	51	74	74	72	72

【実施内容】

《広聴事業》
　区民の皆様からいただいた御意見、御要望に対する調整・回答
　地域振興課や南部農政事務所と連携し、ものづくりに取り組む企業や特徴的な農の取組を行う企業、団体等を区長が訪問し、農と工業がともに盛んである戸塚の魅力を伝えるとともに、企業・団体等のニーズの把握を行う機会を設けます。（年２回）
《区民相談事業》
　（１）特別相談（法律相談、公証相談、行政相談、交通事故相談、行政書士相談）
　（２）区民向け法律講座の開催（内容：過去の特別相談からニーズの高いテーマを選定し、講座を開催します。）
《庁舎案内》
　区民文化センターや交通広場、民間店舗などが併設された総合庁舎における複雑な案内業務に対応するため、引き続き庁舎案内業務の一部を人材派遣会社に委託します。
《区政モニター》
　横浜市インターンシップ事業において、戸塚区の職場で受け入れた学生を区政モニターとして登録し、アンケート・座談会への参加や区内イベントのボランティア等の協力を通じて、継続してつながりを持ち、区の施策に学生の視点を取り入れます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広聴事業	自 55	自 72	△ 17	実績に基づく減
区民相談事業	自 1,957	自 1,905	52	法律相談の実施日の増による増
庁舎案内	自 2,400	自 2,400	0	前年度同額
区民意識調査	自 0	自 2,150	△ 2,150	区民意識調査終了による減
区政モニター	自 20	自 20	0	前年度同額
			0	
事業費合計	4,432	6,547	△ 2,115	
内訳 自主企画事業費	4,432	6,547	△ 2,098	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談　係
	寒河江　周一	上田　薫子	田中　恵海

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書　【 自主企画事業費 】

No. 3

［　戸塚　区　区政推進　課］

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成17年度

事　業　名
効果的で分かりやすい広報事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	3
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本　年　度	12,531		1,696			10,835
前　年　度	11,049		1,696			9,353
増△減	1,482	0	0	0	0	1,482

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	10,776	11,099	11,099
	メリット＋一般財源	8,933	9,280	9,443
決算	事業費	10,059	9,824	10,905
	メリット＋一般財源	8,390	8,459	9,346

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	12,531	12,531
	一般財源	12,531	12,531

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
(無)

事業の概要（目的）	区民ニーズを反映した重点広報計画を共有し、職員の広報マインドを高めながら、より分かりやすく区政情報を発信していきます。基幹的な広報媒体である広報よこはま戸塚区版を編集発行するとともに、様々な広報資源を活用して効果的で分かりやすい広報事業を推進します。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	5　区民アンケート	8　その他		
地域の課題等				

地域ニーズや課題の多様化に伴い、行政の施策もきめ細かく多様なものとなっていますが、これらの行政情報を確実に伝えることが、区民一人ひとりが抱える課題解決に不可欠です。
また、区民意識調査（平成29年度実施）の結果、広報よこはま戸塚区版は、区の情報の入手先として区民の約７割の方が利用する貴重な情報収集源となっています。広報よこはま戸塚区版１月号で行っている読者アンケートの結果もあわせ、これらを確実に編集方針に反映していくことが重要です。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方 「きめ細やかなサービスによる親しまれる区役所づくり」
3　根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

（単位：部）

	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度見込
発行部数	1,269,700	1,277,500	1,284,600	1,292,200	1,293,100	1,295,600	1,290,800

【実施内容】

《広報よこはま戸塚区版発行事業》
・広報よこはま戸塚区版を市版とあわせ月１回発行します。また、区民対象の健康診断などをお知らせする「戸塚福祉保健センターからのお知らせ（保存版）」を年２回（９月号、３月号）挟み込みます。

《様々なメディアを用いた情報提供》
・広報よこはま戸塚区版をはじめ、区役所ホームページやツイッター、コミュニティFM局等、様々なメディアを効果的に活用し、区内の情報をきめ細かく発信します。
・銀行や調剤薬局、企業の休憩所等に広報よこはま戸塚区版を置かせていただくことで、普段、行政や地域などに関心の無い層や戸塚で働く人等、様々な人に情報をお届けします。
・区役所ホームページのコンテンツである「とつかフォトコレクション」にて、現在の戸塚の風景を含めた様々な項目で写真を閲覧できるように工夫します。

《区制80周年記念誌及びPR動画の作成》
・平成31年４月に迎える区制80周年をきっかけとして、区民や戸塚で働く人等、戸塚に関わるすべての人に対して、戸塚の魅力を知り、戸塚により愛着を持っていただくことを目的として80周年記念誌及びPR動画を作成します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
広報よこはま戸塚区版発行事業	自	10,032	自	10,035	△ 3	28年度実績に基づく減
様々なメディアを用いた情報提供	自	999	自	1,014	△ 15	28年度実績に基づく減
区制80周年記念誌及びPR動画の作成	自	1,500	自	0	1,500	新規
事業費合計		12,531		11,049	1,482	
内訳 自主企画事業費		12,531		11,049	1,482	
内訳 重点事業		0		0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談　係
	寒河江　周一	上田　薫子	田中　健

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 4

［　戸塚　区　　総務　　課］

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成30年度

事　業　名
区制80周年記念関連事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	2,000					2,000
前　年　度	0					0
増△減	2,000	0	0	0	0	2,000

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	0	0	0
	メリット＋一般財源	0	0	0
決算	事業費	0	0	0
	メリット＋一般財源	0	0	0

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	3,000	0
	一般財源	3,000	0

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	平成31年に迎える区制80周年を区民の皆様とともに祝い、とつかに愛着を持ち身近に感じられるよう、とつからしさ、とつかの魅力を生かした記念事業を行います。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	5　区民アンケート	6　区民要望	7　関係団体からの要望

地域の課題等

戸塚区は、自然や歴史の魅力に加え、文化・スポーツが盛んで、賑わいのあるまちです。80周年をこれまでのとつかの歩みを大切にしつつ、これからのよりよい未来を描く機会と捉えます。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方 「『地域の絆』づくり」
3　根拠法令・要綱等	戸塚区制80周年記念事業補助金（仮称）

【実績の推移・今後見込み】

平成29年度：実行委員会設立
平成30年度：広報・プロモーション（４月～３月）、各イベント（１月～３月）
平成31年度：広報・プロモーション（４月～11月）、各イベント（４月～11月）

【実施内容】

・とつかに愛着を持ってもらえるような事業、「とつからしさ」や「とつかの魅力」を生かして育てる事業を行います。
・区制80周年を記念したイベント、広報やプロモーションを行います。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
広報・プロモーション、イベント	重	1,500		1,500	新規事業
実行委員会	重	500		500	新規事業
				0	
				0	
				0	
				0	
事業費合計		2,000	0	2,000	
内訳 自主企画事業費		2,000		2,000	
内訳 重点事業		2,000	0	2,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務　係
	齋藤　真美奈	金森　裕一	杉山　晴香

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書　【 自主企画事業費 】

No. 5

［　戸塚　区　区政推進　課］

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成23年度

事　業　名
歴史を生かしたまち育て事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	4
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本　年　度	174					174
前　年　度	672					672
増△減	△ 498	0	0	0	0	△ 498

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	750	1,750	862
	メリット＋一般財源	750	1,750	862
決算	事業費	745	882	753
	メリット＋一般財源	745	882	753

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	672	672
	一般財源	672	672

方針に関する決裁　種別（　　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	旧東海道の宿場町に代表される戸塚区ならではの地域主体の「まち育て」の方策を探るとともに、歴史を生かしたより魅力あるまちづくりを区民の方々と協働で進めます。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	5　区民アンケート	7　関係団体からの要望	
地域の課題等				

東海道五十三次・戸塚宿として400年の歴史を持つ戸塚区は、戸塚駅周辺の整備事業により戸塚のまちの東西が繋がり、大きくまちの姿が変わりました。このことを契機とするとともに、今後も旧東海道戸塚宿という歴史資源を活用し、まちづくりの主体である地域の盛り上がりを高める必要があります。
また、近年、旧東海道をウォーキングする方が増え、市内外から多くの方々が戸塚区を訪れており、マップや、旧東海道沿道の情報を得られる場所の整備が望まれています。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

19年度：「戸塚駅周辺地区における旧東海道みちづくり検討委員会」を開催し、駅周辺地区におけるみちづくり計画を策定
20～21年度：旧東海道の散策マップを作成・配布するとともに、道案内・歴史案内サインを設置
23～24年度：旧東海道を生かした取組を地域主体で検討する場としてワークショップ等を開催
25年度：前２か年度に実施したワークショップの成果を生かした区民の方々との協働による、旧東海道の魅力発信
26年度：区民団体や区民の方々との協働により、お休み処の運営やパネル展・イベントを実施
27年度：旧東海道の道が分かりにくい場所に案内板設置、区民と協働でとつか宿場まつりを初開催　【来場者数約1,300人】
28年度：東海道パネル展、区民と協働で第二回とつか宿場まつりを開催　【来場者数約1,900人】
29年度：東海道パネル展、区民と協働で第三回とつか宿場まつりを開催
・今後の予定
区民の方々と協働でイベント等を実施することにより、地域の歴史的資源を生かした市民交流の促進と、区民の方々が地域の歴史や魅力を再認識し、愛着が持てるまちづくりを推進します。

【実施内容】

【実施内容】
1　区民主体の旧東海道魅力発信イベント等の協力
より多くの方々に戸塚の魅力を知ってもらい、愛着を持ってもらえるように、区民団体や区民の方々が実施する旧東海道戸塚宿の魅力を発信するとつか宿場まつりに協力をすることで幅広い世代への魅力発信に取り組みます。

2　マップの増刷
より多くの方に旧東海道戸塚宿を知ってもらうため、「旧東海道戸塚宿の歴史を歩く散策マップ」を増刷します。

3　東海道パネル展
旧東海道を中心とした戸塚の魅力を紹介するパネル展を開催します。昔の戸塚駅周辺の写真や戸塚に伝わる昔話などを展示します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
歴史を生かしたまち育て事業	自	174	672	△ 498	リーフレット作成終了による減
				0	
事業費合計		174	672	△ 498	
内訳	自主企画事業費	174	672	△ 498	
	重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整　係
	寒河江　周一	松丸　未和	弘光　生磨

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　区政推進　課］

No.	6

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成26年度

事　業　名
とつかブランド向上事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	5
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	720					720
前　年　度	650					650
増△減	70	0	0	0	0	70

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	1,200	1,200	1,114
	メリット＋一般財源	1,200	1,200	1,114
決算	事業費	1,132	1,164	994
	メリット＋一般財源	1,132	1,164	994

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	700	650
	一般財源	700	650

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
㊡無

事業の概要（目的）	「おいしいもの　とつかブランド」のＰＲにより戸塚区のブランド力を高めることで、区内外の方に、区内を巡ったり、戸塚区に訪れていただくなどの機会を生み出し、地域の活性化を図ります。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	5　区民アンケート	7　関係団体からの要望	

地域の課題等

戸塚区には、地元に根付き、愛されている商品が多数ありますが、それらの情報を体系的に区内外に提供することが出来ていない状況でした。26年度に認定した「おいしいもの　とつかブランド」の商品を活用して、戸塚区の魅力を区内外へ積極的にＰＲすることで、より一層戸塚に対する愛着を感じていただけるよう魅力を高めます。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

・区制75周年に区内のおいしいものを「おいしいもの　とつかブランド」として認定し、区内イベントで認定式を行いました。
・27年度は「おいしいもの　とつかブランド」を区内外に浸透させるため、区民まつり等の様々なイベントで、認定品の紹介の機会を増やすとともに、広報よこはま戸塚区版等を活用し、毎月（８月、11月を除く）コラムを掲載しました。また、「おいしいもの　とつかブランド」のＰＲハンドブックを２月末に作成し、近隣の駅や区内公立施設等で配布しました。（発行部数10,000部）
・28年度はインターンシップで受け入れた学生などの協力を得て、ホームページを作成しました。
・29年度は、「おいしいもの　とつかブランド」スタンプラリーを開催しました。

【実施内容】

1　「おいしいもの とつかブランド」の魅力向上（区制80周年関連事業）
・区制80周年事業として位置づけ、認定品を充実するなどブランドの魅力向上を図ります。
・今後の事業展開について、認定店舗にアンケートを実施するなど協働で検討します。
・認定品の充実等にともなうＰＲ冊子の改訂に向けて、冊子デザインを行います。
・区民まつり等に「おいしいもの　とつかブランド」のブースを出展し、認定品を紹介します。
2　下川町との友好協定を生かした地域活性化
・下川町とコラボした製品を、「おいしいもの とつかブランド」と併せてＲＲするなど、下川町との友好協定を生かして地域の活性化を進めます。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
「おいしいもの とつかブランド」の魅力向上	自 510	自 650	△ 140	スタンプラリー終了による減
下川町との友好協定を生かした地域活性化	自 210	0	210	新規事業
			0	
事業費合計	720	650	70	
内訳　自主企画事業費	720	650	70	
内訳　重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整　係
	寒河江　周一	林　正隆	萩原　麻紀子

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　区政推進　課］

No.	7

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成21年度

事　業　名
とつか環境未来エコライフ事業【前年度：とつかエコライフ事業】

特記事項	
未来のまちづくり戦略	○
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

戦略番号	2
戦略番号	

事業評価書番号	6
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,600					1,600
前　年　度	2,000					2,000
増△減	△ 400	0	0	0	0	△ 400

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	1,850	2,150	2,450
	メリット＋一般財源	1,850	2,150	2,450
決算	事業費	1,752	2,002	1,689
	メリット＋一般財源	1,752	2,002	1,689

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,600	1,600
	一般財源	1,600	1,600

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
㊞無

事業の概要（目的）	CO2の排出を削減するため、区民の皆様一人ひとりが脱温暖化行動に取り組む雰囲気を醸成し、脱温暖化行動を生活に定着させる取組を行います。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	5　区民アンケート	6　区民要望		

地域の課題等

東日本大震災を経て、節電への取組及びライフスタイルの転換が一層求められるようになり、脱温暖化行動につながる省エネルギーなライフスタイルが注目を集めてきました。しかし、脱温暖化に向けた取組をこれまで以上に進めていくには、エコ活動に熱心な地域の団体や人材等と協働しながら、環境に関する先進的な取組をより一層推進していく必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市環境未来都市推進計画、横浜市地球温暖化対策実行計画、とつかエココーディネーター協議会活動補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

各種取組実施時のアンケートにおいて、脱温暖化行動の重要性への認識がされるとともに、行動のきっかけづくりができています。

【実施内容】

《とつかエココーディネーター活動支援》
区民の皆様に対して、温暖化対策活動の普及啓発や情報提供を行う役割を担っていただく「とつかエココーディネーター」の活動を支援します。
《エコ普及・啓発事業》
とつかエココーディネーター等と協働で、エコ啓発イベントや講演会を実施します。
《環境未来都市交流》
環境未来都市である北海道下川町と23年度に締結した友好交流協定に基づき交流を深めます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
とつかエココーディネーター活動支援	自 500	500	0	前年度同額
エコ普及・啓発事業	自 1,000	1,500	△ 500	実績による減
環境未来都市交流	自 100	0	100	新規事業
			0	
事業費合計	1,600	2,000	△ 400	
内訳 自主企画事業費	1,600	2,000	△ 400	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整　係
	寒河江　周一	林　正隆	弘光　生磨

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　区政推進　課］

No.	8

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成25年度

事　業　名
都市計画マスタープラン 地区プランの改定事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	○
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

戦略番号	3
戦略番号	

事業評価書番号	7
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	660					660
前　年　度	2,570					2,570
増△減	△ 1,910	0	0	0	0	△ 1,910

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	1,620	1,104	2,480
予算	メリット＋一般財源	1,620	1,104	2,480
決算	事業費	1,208	991	2,117
決算	メリット＋一般財源	1,208	991	2,117

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,500	1,500
予算	一般財源	1,500	1,500

方針に関する決裁　種別（　）

（有）：件名（都市計画マスタープランについて(経営会議)）、日付（24年５月）

無

事業の概要（目的）	横浜市都市計画マスタープラン（全市プラン）及び戸塚区プランの改定に伴い、踊場地区プランを改定します。

（説　明）

１　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	８　その他			

地域の課題等

・地区プランのある踊場地区・舞岡地区では、少子高齢化への対応や防災対策、駅周辺のまちづくりの在り方などについて、地域と共に検討し、プランを作成していくことが求められています。
・改定にあたっては、とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）等とまちづくりの目標を共有し、地域のコミュニティづくりをはじめとするソフト面の対策も踏まえた実現化方策を検討していく必要があります。

２　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」
３　根拠法令・要綱等	都市計画法第18条の２に定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」

【実績の推移・今後見込み】

横浜市では、平成11年度に全市プラン、平成11年度～17年度にかけて18区ごとの区プランが策定されました（戸塚区プランは平成13年４月策定）。更に戸塚区では、より詳細な地区プランとして、「踊場地区プラン」及び「舞岡地区プラン」を平成12年１月に策定しています。その後の社会経済状況の変化に伴い、平成24年度に全市プランが改定され、これを受け、18区で順次改定作業を行っており、戸塚区プランは平成29年度に改定しました。これに伴い、戸塚区内の２つの地区プランの改定作業を順次進めます。

【実施内容】

委託作業内容
・ 踊場地区プランの改定素案及び改定原案（案）の作成
・ 地元意見聴取（市民意見募集等）に関する調整及び資料作成
・ とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）等と目標を共有した「まちづくりの実現化方策（地域まちづくりプラン等を想定）」の検討　など

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
踊場地区プラン改定作業	自 660	自 2,570	△ 1,910	区プラン改定の完了に伴う減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	660	2,570	△ 1,910	
内訳 自主企画事業費	660	2,570	△ 1,910	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整　係
	寒河江　周一	松丸　未和	和田　寛之

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　地域振興　課］

No.	9

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成24年度

事　業　名
とつかものづくり支援事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	10
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,855					1,855
前　年　度	1,563					1,563
増△減	292	0	0	0	0	292

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	1,200	1,300	1,300
	メリット＋一般財源	1,200	1,300	1,300
決算	事業費	1,078	1,226	1,432
	メリット＋一般財源	1,078	1,226	1,432

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,724	1,724
	一般財源	1,724	1,724

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	高度なものづくり技術や独創的な製品を持ち、真摯かつ熱心な事業活動を行う中小ものづくり事業者の紹介をとおして、販路拡大や雇用維持等の中小ものづくり事業の振興を図ります。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	5　区民アンケート		7　関係団体からの要望	

地域の課題等

戸塚区の中小ものづくり事業者は、地域の活性化に貢献するとともに、横浜市の税収に貢献しています。しかし、近年は厳しい経営状況に置かれており、中小事業者の取組を区としても支援していく必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	横浜市中小企業振興基本条例、戸塚区中小ものづくり事業者等紹介事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度見込み	30年度見込み
紹介事業所数	18社	7社	0社	5社	5社

【実施内容】
《ホームページ等掲載事業》
区内の中小ものづくり事業者の事業所・製品又は商品概要、特徴等を区役所ホームページに掲載して紹介し、チラシ等で周知します。
《戸塚ものづくり自慢展実施事業》
区内中小ものづくり事業者の高い技術を、パネル・展示物や実演等で紹介し、また子ども向け体験コーナー等で実際にその仕事を体感する「とつかものづくり自慢展」を開催します。
《とつか工場さんぽ実施事業》
区民が区内事業者の工場を見学し、製品の製作過程における優れた技術力に触れるとつか工場さんぽを実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
ホームページ等掲載事業	自	220	自	350	△ 130	事業手法見直しによる減
戸塚ものづくり自慢展実施事業	自	1,541		628	913	会場設営費等の増
とつか工場さんぽ実施事業	自	94		585	△ 491	実績による減
事業費合計		1,855		1,563	292	
内訳 自主企画事業費		1,855		1,563	292	
内訳 重点事業		0		0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	伊藤　英幸	木幡　有希

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　地域振興　課］

No.	10

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成25年度

事　業　名
活気あるとつか商店街支援事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	11
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	600					600
前　年　度	1,510					1,510
増△減	△ 910	0	0	0	0	△ 910

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	690	1,300	1,300
	メリット＋一般財源	690	1,300	1,300
決算	事業費	605	1,323	1,265
	メリット＋一般財源	605	1,323	1,265

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	600	600
	一般財源	600	600

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	戸塚区内の多くの商店街は衰退が懸念されており、経済局の様々な支援策を活用し総合的に支援していくのと同時に、区内の商店街と協力して活気ある商店街づくりを支援します。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	7　関係団体からの要望		
地域の課題等				

戸塚区には現在13の商店街がありますが、単に経済活動の場だけではなく、イベント等の開催、商店街街灯の維持管理、地域コミュニティの核としての役割を果たしています。このことから、区内の商店街をＰＲして、活気ある商店街づくりを支援します。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	横浜市中小企業振興基本条例、横浜市商店街の活性化に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

		H25	H26	H27	H28	H29
区商連加盟店舗数	商店街数	12	11	13	12	12
	加盟店舗数	303	290	416	416	416

【実施内容】

《商店街活性化事業》

区民広間などを活用した商店街ＰＲ活動を行います。

戸塚ふれあい区民まつりの開催にあわせ、周辺のイベントと連携した商店街活性化の取組み（スタンプラリー等）を行います。

《個人商店魅力アップ事業》

個人商店向けにセミナーを開催して、来店客数・売上アップをサポートします。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
商店街活性化事業	自 300	自 650	△ 350	はしご酒ライブ運営の事業手法見直しの減
個人商店魅力アップ事業	自 300	自 600	△ 300	HPの掲載を職員対応とすることによる減
商店街をめぐる健康ウォーキングマップ作成	自 0	自 260	△ 260	在庫活用による減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	600	1,510	△ 910	
内訳 自主企画事業費	600	1,510	△ 910	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	伊藤　英幸	山崎　修

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　土木事務所　課］

No.	11

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	平成30年度

事　業　名
とつか花できれいなまちづくり事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,070					1,070
前　年　度	0					0
増△減	1,070	0	0	0	0	1,070

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費			
	メリット＋一般財源			
決算	事業費			
	メリット＋一般財源			

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,000	1,000
	一般財源	1,000	1,000

方針に関する決裁　種別（　　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	駅周辺や道路・河川・公園から「花できれいなまちづくり」を広げながら、快適な環境づくりと地域の生活環境を大切にする風土と地域の絆をつくるものです。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段				

地域の課題等

2017全国都市緑化よこはまフェアを契機として芽生えた「花できれいなまちづくり」を引き継ぎ発展させます。特に、戸塚駅では西口デッキに記念ガーデンを作製し、イベントに活用するとともに利用者や歩行者の関心を得たところです。また、東戸塚駅の西口広場についても、地元企業や地区連合町内会が中心となって、既存の植栽や花苗を植えたプランターを活用して緑化フェアを盛り上げ、駅利用者からも興味・感心にもとづく意見が寄せられました。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

平成29年度は、戸塚区の第33回全国都市緑化フェア会場であった戸塚駅と東戸塚駅で、商店会、地元企業、地区連合町内会が記念ガーデンを作りました。平成30年度は、戸塚駅と東戸塚駅で、フェア期間中に高まった「花できれいなまちづくり」の意識を広げ、定期的な植栽の植え替えや維持管理の活動が定着化するよう図ります。そして、平成31年度以降は舞岡駅や踊場駅周辺にも活動の場を広げていきます。

【実施内容】

自治会・町内会やハマロードサポーター、水辺愛護会、公園愛護会、福祉団体、企業、商店会などで、地域の実情にあった組み合わせで構成する「花さか✿クラブ」というボランティア組織をつくり、区内鉄道２駅（戸塚駅・東戸塚駅）周辺で、定期的に花の植え替えや植栽の維持管理を行い、駅周辺の歩行者や地域住民を季節の花で迎えながら、地域の絆を大切にする風土を広げ、子どもには故郷のよい思い出づくりを、大人には居住地域を誇りに思えるような快適な環境をつくります。また、活動を通して、区民の交流や地域での情報の共有の場とします。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
とつか花できれいなまちづくり事業	重	1,070		1,070	新規
				0	
				0	
				0	
事業費合計		1,070	0	1,070	
内訳 自主企画事業費		1,070	0	1,070	
内訳 重点事業		1,070	0	1,070	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	管理 係
	白井　一彦	中山　一男	田中　実

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No.	12

［　戸塚　区　区政推進　課］

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成18年度

事　業　名
とつか地域づくり支援事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	12
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	500					500
前　年　度	1,050					1,050
増△減	△ 550	0	0	0	0	△ 550

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	1,500	1,600	1,600
	メリット＋一般財源	1,500	1,600	1,600
決算	事業費	1,409	1,250	1,250
	メリット＋一般財源	1,409	1,250	1,250

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	500	500
	一般財源	500	500

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
㊟無

事業の概要（目的）	高齢者等への支援活動の調整窓口となり、併せて地域のつながりや担い手確保の舞台となる「地域の居場所」を支援します。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	3　地区担当制度	4　地区懇談会	8　その他	

地域の課題等

・高齢化の進行に伴い様々な地域課題が発生していますが、「地域の方が気軽に集まり、情報交換できる場」のニーズは各地域にあり、「顔の見える関係」づくりが求められています。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「『地域の絆』づくり」
3　根拠法令・要綱等	戸塚区地域の居場所づくり補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

・戸塚区地域の居場所づくり支援事業は、地域で区民が主体となり、住民等が交流し、助け合いながらより良いまちづくりを行っていくことを目的とした居場所の運営を支援する事業であり、その実績は、平成23年度から平成29年度までの間に延11か所に支援を実施しています。平成30年度は２か所の居場所を支援していきます。

【実施内容】
・地域の人が気軽に集まる場を作ることにより、様々な地域課題解決の基盤となる「顔の見える関係」づくりを進めます。

《「地域の居場所」運営の支援》
地域の居場所運営に必要な経費を支援します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
「地域の居場所」運営の支援	自 500	自 750	△ 250	補助金額の減
戸塚区住まいの防災・減災地域支援活動助成	自 0	自 300	△ 300	事業終了による減
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	500	1,050	△ 550	
内訳 自主企画事業費	500	1,050	△ 550	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域力推進担当　係
	寒河江　周一	奥石　全一	近藤　恭子

様式3-1

（様式３－１）　平成 30 年度　事業計画書【自主企画事業費】

No. 13

［ 戸塚 区 地域振興 課］

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成６年度

事業名
美化推進事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	13
事業評価書番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,733					3,733
前年度	3,329					3,329
増△減	404	0	0	0	0	404

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	3,525	3,390	3,434
	メリット＋一般財源	3,525	3,390	3,434
決算	事業費	3,367	3,216	3,463
	メリット＋一般財源	3,367	3,216	3,463

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	3,088	3,088
	一般財源	3,088	3,088

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	ごみの減量化を目指し、商業施設や大学等へ啓発に出向き、ヨコハマ３Ｒ夢プランを推進します。 さらに、区内小学校と協働で、街の美化に取り組むと共に、街の美化と３Ｒ夢活動に貢献した区民を表彰します。 また、戸塚駅及び東戸塚駅周辺の美化推進員によるポイ捨て禁止啓発や清掃活動及び戸塚駅周辺清掃委託を実施します。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	6　区民要望		

地域の課題等

戸塚駅は横浜駅に次いで市内で２番目、東戸塚駅は13番目に乗降客数が多く、それぞれの駅周辺では喫煙者のたばこの火による火傷や焼け焦げなど危険な状況が多く報告されています。30年３月に、戸塚駅周辺は「喫煙禁止地区」に指定されていますが、東戸塚駅については今後も継続的に歩きたばこ・ポイ捨て防止に取り組む必要があります。さらに、喫煙者が多いことから、受動喫煙についても問題になっています。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「活気に満ちた魅力あるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	横浜市空き缶等及び吸殻等の散乱の防止に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

1　美化推進員啓発清掃活動

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度見込み	30年度見込み
年間延活動日数	96日	95日	96日	96日	96日

2　戸塚区環境行動賞

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度	30年度見込み
被表彰者（団体）数	16名４団体	16名11団体	14名８団体	９名12団体	16名14団体

3　クリーンタウン横浜事業

毎週１回戸塚駅周辺地区の清掃を業務委託及び「花の小道」事業による街の美化を推進します。

4　３Ｒ推進事業

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度目標	
ごみと資源の総量	62,923ｔ	62,291ｔ	61,565ｔ	61,062ｔ	

【実施内容】

《美化推進員啓発清掃活動》
30年度は、美化推進重点地区に５人を配置し、年間96回の清掃活動及びポイ捨て禁止の啓発活動を実施します。
《きれいな街づくり推進事業》
美化・３Ｒ夢行動等に取り組む区民を表彰します。また、30年度のごみと資源の排出量削減の目標を設定するため、ヨコハマ３Ｒ夢戸塚区推進会議を開催します。
《クリーンタウン横浜事業》
美化重点地区の清掃委託及び小学校周辺の歩道に花を植える「花の小道」事業による街の美化を推進します。
《３Ｒ夢推進事業》
生ごみ処理器のモニター事業及び食材使いきりを推進する3R夢クッキング教室の実施により、ごみの減量化・資源化を推進します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
美化推進員啓発清掃事業	自	768	960	△ 192	委員等報酬実績に基づく減
きれいな街づくり推進事業	自	51	115	△ 64	表彰式実施実績に基づく減
クリーンタウン横浜事業	自	1,845	1,895	△ 50	清掃委託業務内容見直しによる
３Ｒ夢推進事業	自	1,069	359	710	新規事業実施による増
ごみ減量推進事業		359	0	359	前年度同額
生ごみ処理器モニター事業		560	0	560	新規事業
３R夢クッキング教室事業		150	0	150	新規事業
事業費合計		3,733	3,329	404	
内訳 自主企画事業費		3,733	3,329	404	
内訳 重点事業		0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	黒川　正人	青田　永吾	木幡　有希

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　地域振興　課］

No.	14

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成６年度

事　業　名
戸塚区民まつり事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	14
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	3,221					3,221
前　年　度	3,250					3,250
増△減	△ 29	0	0	0	0	△ 29

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	2,900	3,250	3,250
	メリット＋一般財源	2,900	3,250	3,250
決算	事業費	2,857	3,207	3,207
	メリット＋一般財源	2,857	3,207	3,207

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	3,250	3,250
	一般財源	3,250	3,250

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	区民の郷土愛を育て、連帯意識の高揚を図り、ふれあいのある、活気あふれる地域交流を促進するため、戸塚区民まつりを実施します。 また、区民の憩いの場を確保するため、桜の開花時期に合わせ柏尾川周辺の環境整備を実施します。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	6　区民要望	7　関係団体からの要望	

地域の課題等

戸塚区では土地開発が進むことで、他の地域からの転入者が増えています。
そのため区民の地元意識及び連帯意識は希薄化する傾向にあり、区民主体の地域づくり推進の逆風となっています。この課題を解決するため、区民が地元に愛着を持てるような、区民、地域の活動団体、福祉団体、企業、学校等の交流・連携の場が今後ますます必要とされます。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「『地域の絆』づくり」
3　根拠法令・要綱等	戸塚区民まつり補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度見込み
戸塚区民まつり来場者数	25,000人	27,000人	32,000人	30,000人
戸塚ふれあい文化祭参加団体数	60団体	59団体	58団体	57団体

【実施内容】

《柏尾川周辺の環境整備》
桜の季節のぼんぼり点灯委託
《戸塚区民まつり事業》
（１）戸塚ふれあい区民まつり
（２）戸塚ふれあい文化祭

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
柏尾川周辺の環境整備	自 321	自 350	△ 29	河川清掃の手法の見直しによる減
戸塚区民まつり事業	自 2,900	自 2,900	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	3,221	3,250	△ 29	
内訳 自主企画事業費	3,221	3,250	△ 29	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	伊藤　英幸	山崎　修

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No.	15

［　戸塚　区　地域振興　課］

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成６年度

事　業　名
自治会町内会連絡調整事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	15
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	2,418					2,418
前　年　度	2,415					2,415
増△減	3	0	0	0	0	3

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	2,421	2,557	2,550
	メリット＋一般財源	2,421	2,557	2,550
決算	事業費	2,090	2,425	2,042
	メリット＋一般財源	2,090	2,425	2,042

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	2,415	2,415
	一般財源	2,415	2,415

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	市及び区から自治会町内会への依頼及び連絡などに係る調整を行うことにより、自治会町内会に対し、多くの情報を提供するとともに、地域の自主的な活動を支援します。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	2　陳情	3　地区担当制度	

地域の課題等

自治会町内会未加入世帯への加入促進対策、役員の高齢化など多くの課題を抱える自治会町内会にとって、行政からの依頼業務は負担として受け止められるケースが生じてきています。
自治会町内会は、横浜市の様々な施策を推進するための、大切な協働パートナーであります。行政が自治会町内会に依頼する業務については内容を検討し、負担とならないよう配慮しつつ、地域の自主的な活動が促進されるよう、引き続き努めていく必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「『地域の絆』づくり」
3　根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

感謝会における経費等の推移

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度見込み
開催場所	戸塚公会堂	戸塚公会堂	戸塚区総合庁	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎
被表彰者数	24人	22人	16人	19人	17人	23人	28人
事業費	820,036	896,587	884,394	752,319	1,077,095	893,155	1,014,000

【実施内容】

《仕分け、配送委託業務》
　行政から自治会町内会へ情報提供（資料の仕分け及び配送）を実施します。
《自治会町内会長感謝会》
　住民組織の代表として地域の発展や区政の推進に尽力されてきた永年在職者を表彰するとともに、自治会町内会長の日頃の活動に感謝の意を表し、感謝会を開催します。
《加入促進》
　自治会町内会未加入世帯に対する加入促進策（加入促進キャンペーン等）を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
仕分け配送業務	自	1,323	自	1,301	22	配送単価の増
自治会町内会長感謝会	自	1,045	自	1,014	31	表彰状印刷費の増
加入促進	自	50	自	100	△ 50	事業手法見直しによる減
					0	
事業費合計		2,418		2,415	3	
内訳 自主企画事業費		2,418		2,415	3	
内訳 重点事業		0		0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	伊藤　英幸	三宅　則郎

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 16

［　戸塚　区　地域振興　課］

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成６年度

事　業　名
かしこい消費生活事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	16
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	905					905
前　年　度	865					865
増△減	40	0	0	0	0	40

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	878	878	878
	メリット＋一般財源	878	878	848
決算	事業費	864	865	1,428
	メリット＋一般財源	864	865	1,428

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	905	905
	一般財源	905	905

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	消費者をめぐる社会経済環境はめまぐるしく変化しており、市民の消費生活は様々な面において大きな影響を受けています。このような中で、消費生活推進員が地域や区と協力して適切な情報を発信し、安全で快適な消費生活を実現していきます。

（説　明）

１　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	１　日常の窓口応対等	７　関係団体からの要望		
地域の課題等				

消費生活に関する社会経済状況が変化している中で、消費生活推進員は今後さらに地域に根ざした活動を進めていく必要があります。消費生活に関する知識・情報の提供に加え、消費者被害の防止に向けた啓発、リサイクル等環境に配慮した消費行動の推進、商店街等との意見交換など、地域と連携して活動を行っていきます。

２　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「『地域の絆』づくり」
３　根拠法令・要綱等	消費者基本法、消費者教育の推進に関する法律、横浜市消費生活条例、横浜市消費生活条例施行規則、横浜市消費生活推進員要綱、横浜市消費生活推進戸塚区活動助成要領

【実績の推移・今後見込み】　（単位：人、回）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
委嘱者数	181	183	175	178	173	175*
地区活動回数	97	101	91	95	90*	90*
活動参加者数	1,039	748	1,725	1,286	1,500*	1,500*

＊見込み数値

【実施内容】

(1) 区自主事業に対する助成
　各地区代表及び副代表が、それぞれの活動についての情報共有を行うと同時に、区全体を対象として活動を行います。
　（地区代表会議の開催、勉強会・講演会の開催、施設見学会の開催、消費生活総合センター消費生活教室の共催等）
(2) 地区活動に対する助成
　消費生活推進員が、各地区の地域住民に対して地域に根ざした活動を行います。
　（消費者被害未然防止に関する啓発講座の開催、環境に配慮した購買行動の推進、商店街等との意見交換、試売調査等）
(3) 広報活動
　消費生活推進員の活動紹介及び消費生活の認知度向上を目指し、区庁舎にてものづくり自慢展の中で消費生活展を開催します。また、年に一度活動のまとめとして消費生活推進員だよりを発行します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
地区活動経常費		自 905	自 865	40	新連合設立による増
事業費合計		905	865	40	
内訳	自主企画事業費	905	865	40	
	重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	青田　永吾	古田　汀

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書　【 自主企画事業費 】

No. 17

［　戸塚　区　地域振興　課］

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成21年度

事　業　名
とつか魅力再発見事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	17
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,095		325			770
前　年　度	741		455			286
増△減	354	0	△ 130	0	0	484

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	1,260	505	450
	メリット＋一般財源	1,260	480	450
決算	事業費	1,625	1,050	1,211
	メリット＋一般財源	1,625	536	1,039

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,095	595
	一般財源	1,095	595

方針に関する決裁　種別（　　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	区制70周年を記念して誕生した戸塚区マスコットキャラクター「ウナシー」の斑点の色から戸塚区の魅力を知ってもらい、自分たちの住む町への郷土愛の醸成を図ります。また、各種団体と協働していくことにより、地域力の発揮場所を広げます。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	6　区民要望	7　関係団体からの要望	

地域の課題等

戸塚区の歴史の普及や自然保護等について活動している地域団体の活動の場を提供するとともに、継続的な市民活動の担い手を発掘・育成する必要があるため、区民団体と連携した事業サイクルを確立する必要があります。
また、歴史研究グループが高齢化しており、戸塚区の歴史に関する貴重な資料や情報の保存をしていく必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】　（単位：人）

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
なぞとき広場応募者数	223	310	258	300	300
なぞとき広場参加者数	119	88	170	200	200

※30年度から31年度は見込み数値

（単位：冊）

	27年度	28年度	29年度	30年度
とつか歴史ろまん(新装版)販売数	790	268	700	500

※29年度及び30年度は見込み数値

【実施内容】

ウナシーなぞとき広場

戸塚区のマスコットキャラクター「ウナシー」の斑点模様が表す戸塚区の魅力を学ぶ小学生対象事業。
「ウナシーなぞとき動画」鑑賞や体験作業を通して、ウナシーの斑点の色に込められた戸塚区の魅力を理解してもらいます。
地域で歴史の普及活動、桜やミズキンバイの保全活動をする区民団体等との協働事業として実施し、活動団体の活動支援の一助とするとともに、参加者に自分たちの住む町への郷土愛の醸成を図ります。

《ウナシー普及事業》

戸塚区のマスコットキャラクター「ウナシー」を多くの区民に周知することにより、戸塚区に愛着を持ち、郷土心の醸成を図るため、ウナシー普及事業として着ぐるみの貸出を行っています。また貸出に伴い、着ぐるみの衛生管理のため、クリーニングをします。区制80周年に向けて、各種イベントの啓発物品に供するため、ウナシーグッズを製作します。

《戸塚の歴史普及事業》

戸塚区の歴史をまとめた「とつか歴史ろまん（新装版）」を継続して販売します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
ウナシーなぞとき広場	自	320	511	△ 191	29年度実績に基づく減
ウナシー普及事業	自	700	125	575	80周年啓発物品製作による増
戸塚の歴史普及事業	自	75	105	△ 30	本の販売見込数の減
事業費合計		1,095	741	354	
内訳 自主企画事業費		1,095	741	354	
内訳 重点事業		0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	平中　文朗	中川　尚美

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書　【 自主企画事業費 】

No. 18

［ 戸塚 区　総務 課］

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成６年度

事　業　名
「災害に強いまちとつか」に向けた防災・減災強化事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	○
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	4
戦略番号	

事業評価書番号	18
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本　年　度	7,058					7,058
前　年　度	6,965					6,965
増△減	93	0	0	0	0	93

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	5,224	8,178	7,954
	メリット＋一般財源	5,224	8,178	7,954
決算	事業費	6,243	9,765	8,661
	メリット＋一般財源	6,243	9,765	8,661

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	7,000	7,000
	一般財源	7,000	7,000

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	防災関係機関、地域住民と連携した訓練や防災・減災イベントなどの啓発活動により「災害に強いまちとつか」に向け地域における防災・減災力の強化を図ります。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段				
地域の課題等				

・防災・減災に対する意識の向上とともに、備蓄や実災害時の避難などの行動に移していただけるよう、啓発を行う必要がある。
・共助の取組みについて、町の防災組織や地域防災拠点などの支援などを通じて、強化していく必要がある。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「安全を実感できるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例、戸塚区災害ボランティアネットワーク支援事業補助金交付要綱、横浜市震災対策条例

【実績の推移・今後見込み】　（単位：人）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度見込	30年度見込
防災講演会参加者数	400	360	480	480	480	480
イベント参加者数	－	1,500	3,000	3,200	1,000	1,200

【実施内容】

《防災･減災啓発の実施》
　防災に関する広報印刷物等により、区民の災害対応に関する意識啓発を行います。

《関係機関との連携強化》
　住民、地元組織、企業、行政その他関係機関が一致協力して災害対策を実施するため、災害対策連絡会議や各種連携訓練による相互の連絡体制の確認や情報交換を行い、関係機関との連携強化を図ります。
　また、連携強化のためにIPレシーバーなどの資機材等の整備を行います。

《区本部体制の整備》
　災害時の区本部機能強化のため、通信機能の確保、各種リース契約、物品・備蓄品補充などの必要な体制づくりを進めていきます。また、職員向けの訓練を実施し、戸塚区職員の災害対応力を高めます。

《地域防災拠点等の対応力強化》
　地域防災拠点における訓練への支援や資機材の購入などにより、震災時における地域防災拠点の対応力強化を図ります。

《「とつか減災フェア」の開催》
　区庁舎において、著名人による「防災講演会」と同時に、区民広間等を活用した防災グッズの紹介、販売ブースや催物を行う「とつか減災フェア」を開催し、子どもから大人まで幅広い年齢層の方を対象に自助・共助の一層の推進を図ります。

《土砂・浸水災害等対策》
　土砂災害・浸水等対策として、対策用資機材を購入や整備をするとともに、地域の方々への意識啓発を図ります。

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
防災・減災啓発の実施	重	1,990	重	2,000	△ 10	印刷物等の更新による増
関係機関との連携強化	重	610	重	300	310	資機材の整備による増
区本部体制の整備	重	2,275	重	2,030	245	備蓄品更新による増
地域防災拠点等の対応力強化	重	610	重	650	△ 40	傷害保険料負担の見直しによる減
とつか減災フェアの開催	重	1,273	重	1,100	173	チラシ部数の増加による
土砂・浸水災害等対策	重	300	重	885	△ 585	啓発チラシの自作による
事業費合計		7,058		6,965	93	
内訳 自主企画事業費		7,058		6,965	93	
内訳 重点事業		7,058		6,965	93	

	課長	係長	庶務 係
本資料は、公正・適正に作成しました。	齋藤　真美奈	田中　均	伊藤　龍一

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 19

［　戸塚　区　地域振興　課］

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防犯	事業開始年度	平成17年度

事　業　名
防犯力強化事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	19
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	4,560					4,560
前　年　度	4,786					4,786
増△減	△ 226	0	0	0	0	△ 226

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	3,425	4,705	4,305
	メリット＋一般財源	3,425	4,705	4,305
決算	事業費	3,300	4,016	4,564
	メリット＋一般財源	3,300	4,016	4,564

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	4,786	4,786
	一般財源	4,786	4,786

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	啓発活動の実施及び防犯情報を区民に提供することで、区民の防犯に対する意識の向上及び、体感治安の改善を目指します。また、地域の防犯活動に対する支援を行います。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等			

地域の課題等

戸塚区における犯罪件数は、年々、減少しているものの、市内では依然として上位にあるとともに、振り込め詐欺の被害が後を絶たず、子どもを狙った犯罪も頻発しています。警察、地域における防犯に対する啓発活動等により、防犯意識を高めていく必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「安全を実感できるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	犯罪のない街づくり事業助成金交付要綱、地域防犯活動拠点設置要領

【実績の推移・今後見込み】

	25年件数	26年件数	27年件数	28年件数
刑法犯認知件数	2,083件	1,866件	1,606件	1,327件
振り込め詐欺件数	32件(96,370千円)	47件(86,000千円)	24件(97,530千円)	22件(85,640千円)

【実施内容】
《振り込め詐欺撲滅啓発事業》
　振り込め詐欺被害は減少傾向にあるものの被害が後を絶たないため、街頭啓発や各種団体の協力を得て高齢者を中心に振り込め詐欺撲滅を呼びかけます。その他、振り込め詐欺撲滅のため、警察や区職員による出前講座を実施していきます。
《地域の防犯活動応援事業》
(1)犯罪のないまちづくり事業
　自治会館や防犯拠点を中心に、パトロール・講習会等を実施する自主的な地域団体に対する補助金を交付
(2)地域防犯活動拠点支援
　地域の防犯活動における拠点の設置をすすめ、看板プレートの提供など支援を行います。
《子ども安全推進事業》
(1)防犯ブザー配付事業
　安全教育のツール及び防犯対策として、区内小学校１年生を対象に防犯ブザーを配付します。
(2)子ども110番の家応援
　子ども110番の家ﾌﾟﾚｰﾄを作成・提供し、PTAによる「子ども110番の家」事業の運営を支援します。
《戸塚区まちの安心・安全推進連絡協議会》
(1)防犯キャンペーン
　防犯協会、協議会、警察署、区が連携して毎月10日に駅で防犯啓発を行います。
(2)わんわんパトロール隊事業
　まちの防犯力を高めることを目的に犬の散歩時に防犯パトロールを兼ねる「わんわんパトロール隊」の普及と支援をします。

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
振り込め詐欺撲滅啓発事業	自	400	自	400	0	前年度同額
地域の防犯活動応援事業	自	2,886	自	2,886	0	前年度同額
子ども安全推進事業	自	1,185	自	1,185	0	前年度同額
戸塚区まちの安心・安全推進連絡協議会	自	89	自	315	△ 226 0	節減による減
					0	
事業費合計		4,560		4,786	△ 226	
内訳 自主企画事業費		4,560		4,786	△ 226	
内訳 重点事業		0		0	0	

	課長	係長	地域活動 係
本資料は、公正・適正に作成しました。	卯都木　隆幸	伊藤　悟	山崎　修

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　地域振興　課］

No.	20

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成17年度

事業名
交通安全・放置自転車対策事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	20
事業評価書番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,134					5,134
前年度	5,388					5,388
増△減	△ 254	0	0	0	0	△ 254

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	6,202	4,393	4,774
	メリット＋一般財源	6,202	4,393	4,774
決算	事業費	4,658	4,469	4,960
	メリット＋一般財源	4,658	4,469	4,960

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	5,388	5,388
	一般財源	5,388	5,388

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	〈交通安全対策〉交通安全の普及活動や区内のスクールゾーンにおける事故防止対策を行います。 〈放置自転車対策〉早朝及び夕方の駐輪指導、自転車適正利用の啓発活動を行います。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等			

地域の課題等

〈交通安全対策〉戸塚区では国道一号線等の主要道路が通っていることや細い道が多数あることから、交通事故の件数も市内上位となっています。通学路の安全確保と交通安全への意識を更に高める必要があります。
〈放置自転車対策〉戸塚駅前、東戸塚駅前は、放置自転車が多く、引き続き駐輪指導、自転車適正利用の啓発活動が必要です。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「安全を実感できるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	横浜市自転車等の放置防止に関する条例、戸塚区自転車等放置防止推進協議会活動補助金交付要綱、戸塚区スクールゾーン安全対策協議会助成金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】　（単位：件）

	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績
交通事故発生件数	1,235	988	986	822

【実施内容】

《交通安全啓発活動》
定期的な各種の交通安全啓発キャンペーンや子どもや高齢者などを対象とした交通安全教室を開催し、区民の交通安全意識及び交通マナーの向上を図ります。
また、中学校を対象とした、スケアード・ストレイト方式による交通安全教室を実施し、自転車の乗り方、ルール等、事故防止につながる取組をします。

《スクールゾーン対策》
区内各小学校のスクールゾーン安全対策協議会に対し助成を行うとともに、電柱巻「文」マークの更新及びスクールゾーンの路面表示の設置、補修をします。
また、登下校時の見守り活動に必要な物品を配布します。

《放置自転車対策事業》
戸塚駅・東戸塚駅周辺の自転車等放置禁止区域に監視員を配置します。
また、各自転車等放置防止推進協議会に対し、補助金を交付します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
交通安全啓発活動	自 1,500	自 1,500	0	前年度同額
スクールゾーン対策	自 3,154	自 3,308	△ 154	電柱巻新設の廃止に伴う減
放置自転車対策事業	自 480	自 580	△ 100	実績に基づく事務経費の減
			0	
事業費合計	5,134	5,388	△ 254	
内訳 自主企画事業費	5,134	5,388	△ 254	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	伊藤　英幸	陣田　翼

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 21

［　戸塚　区　地域振興　課］

予算区分	文化・ｽﾎﾟｰﾂ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習	事業開始年度	平成16年度

事　業　名
区民活動支援事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	21
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	8,212					8,212
前　年　度	8,123					8,123
増△減	89	0	0	0	0	89

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	7,767	7,264	9,473
	メリット＋一般財源	7,797	7,264	9,473
決算	事業費	7,617	5,867	7,957
	メリット＋一般財源	7,617	5,867	7,957

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	8,212	8,212
	一般財源	8,212	8,212

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	地域の課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組んでいけるような社会の実現を目指します。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段				

地域の課題等

地域でボランティア活動や学習活動を始めたいと思っている区民に対して、学習機会と情報を提供することが必要です。また、すでにそうした活動を始めている個人・グループは、グループ内の人間関係や活動場所、資金、企画力、広報等の運営上の課題を解決していくことを求めています。これらのニーズに対して、活動の質を高めるための学習機会と適切な情報の提供や財政的支援を行うとともに、地域活動拠点として「とつか区民活動センター」事業を活性化する必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「『地域の絆』づくり」
3　根拠法令・要綱等	・教育基本法　・社会教育法　・横浜市市民協働条例　・第３次横浜市生涯学習基本構想 ・とつか区民活動センター事業実施要綱　・横浜市民の読書活動の推進に関する条例 ・とつか区民の夢プロジェクト補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

事業名	H26	H27	H28	H29	H30
とつか区民の夢プロジェクト補助金事業			10団体	13団体	約15団体
読書活動推進事業(講座等参加者数)		150人	200人	200人	200人
とつか区民活動センター運営事業（センター利用者数）	29,049人	27,474人	28,767人	29,000人	29,000人

【実施内容】

《とつか区民の夢プロジェクト補助金》

区内で活動する団体が行う、地域の魅力づくり・課題解決に繋がる活動に対し、補助を行います。

《読書活動推進事業》

関係課長、学校長代表による連絡会、区内読書関連施設、ボランティア団体による懇談会を開催します。また、学校司書を中心にした学校連携会議を開催します。戸塚図書館・学校等と連携して講座の実施や区民広間等を利用したイベントを開催し行うほか、読書活動入門講座、実践者を対象としたスキルアップ研修などを開催し、区民の読書活動の推進を図ります。

《とつか区民活動センター運営事業》

市民活動・生涯学習活動・ボランティア活動支援の拠点である「とつか区民活動センター」を委託団体と協働で運営します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
とつか区民の夢プロジェクト補助金事業	自	2,169	自	2,209	△ 40	29年度実績に基づく減
読書活動推進事業	自	400	自	400	0	前年度同額
とつか区民活動センター運営事業	自	5,643	自	5,514	129	29年度実績に基づく増
					0	
事業費合計		8,212		8,123	89	
内訳 自主企画事業費		8,212		8,123	89	
内訳 重点事業		0		0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	平中　文朗	安藤　晋也

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　地域振興　課］

No.	22

予算区分	文化・ｽﾎﾟｰﾂ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成18年度

事　業　名
地域文化振興事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	22
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,300					1,300
前　年　度	1,500					1,500
増△減	△ 200	0	0	0	0	△ 200

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	3,001	3,051	1,000
	メリット＋一般財源	3,001	3,051	1,000
決算	事業費	2,624	2,696	1,175
	メリット＋一般財源	2,624	2,696	1,175

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,300	1,300
	一般財源	1,300	1,300

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	区民に「文化芸術に触れる機会」を提供し、文化活動の関心を高めるとともに、区内の文化活動団体等への活動支援を行い、地域の文化振興を図ります。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段				

地域の課題等

戸塚区民文化センターの開館により、文化活動を展開している区民団体の文化振興に向ける期待が膨らみ、更に活発化しようとしています。地域に展開する文化芸術事業を盛り上げ、区民の参画を促進し、地域の文化振興を図る必要があります。そのため、区民が主体的に参加できる文化芸術活動を積極的に支援します。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	戸塚っ子いきいきアートフェスティバル補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

戸塚っ子いきいきアートフェスティバル　（単位:人）

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入場者数(人)	2,314	3,620	4,171	4,244	3,955	4,000	4,000

【実施内容】

《戸塚っ子いきいきアートフェスティバル》

区内の小、中、高、特別支援学校の様々な文化活動の発表を区内の青少年育成に関わる団体・有識者により実施します。

《DanceDanceDance@YOKOHAMA応援事業》

DanceDanceDance@YOKOHAMAの開催に合わせて、戸塚区制80周年プレイベントとして区内でダンスフェスティバルを開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
戸塚っ子いきいきアートフェスティバル	自	1,000	自	1,000	0	前年度同額
DanceDanceDance@YOKOHAMA応援事業	自	300		0	300	新規事業
ヨコハマトリエンナーレ2017応援事業	自	0	自	500	△ 500	事業終了
					0	
					0	
					0	
事業費合計		1,300		1,500	△ 200	
内訳 自主企画事業費		1,300		1,500	△ 200	
内訳 重点事業		0		0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	平中　文朗	安藤　晋也

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　地域振興　課］

No.	23

予算区分	文化・ｽﾎﾟｰﾂ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成26年度

事　業　名
とつか音楽の街づくり事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	23
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	3,000					3,000
前　年　度	1,800					1,800
増△減	1,200	0	0	0	0	1,200

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	500	1,100	1,800
	メリット＋一般財源	500	1,100	1,800
決算	事業費	947	1,100	1,986
	メリット＋一般財源	947	1,100	1,986

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	3,000	3,000
	一般財源	3,000	3,000

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	区民の文化団体や演奏家へ発表の場を提供するとともに、幅広い年齢層の区民に音楽に親しんでもらう機会や場所を提供し、音楽の街とつかを広くアピールします。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段				
地域の課題等				

戸塚区は、市内初の区民オーケストラ、区民の実行委員によるゴスペルコンサート、戸塚に縁のある歌を唄うシンガーソングライターや商店街と連携した路上ライブなど音楽活動が区民に浸透しています。
そこで、区民の文化団体や演奏家へ発表の場を提供するとともに、幅広い年齢層の区民に音楽に親しんでもらう機会や場所を提供し、音楽を中心に地域のつながりを深め、地域の活性化を図ります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	とつか音楽の街づくり事業とつかストリートライブ運営補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度見込み	平成30年度見込み
区民広間コンサート　開催回数・参加者数	9回・1080人	12回・1500人	12回・1600人	12回・1600人	12回・1600人
とつかストリートライブ　出演者数	17組	66組	138組	150組	150組

【実施内容】
(1) 区民広間コンサート
区民広間において区民の文化団体を中心としたコンサートを実施します。出演団体の募集選定も含め、企画運営については、区民からなる運営委員会により実施します。
(2) とつかストリートライブ
区内で演奏の場を設け、ストリートミュージシャンに演奏の場を提供します。出演者の募集、広報、その他企画等は補助金交付により実施します。戸塚駅及び東戸塚駅周辺での定期ライブ開催に加えて、とつかはしご酒ライブやミュージック大会を区制80周年イベントやプレイベントとして開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
とつか音楽の街づくり事業	重	3,000	自	1,800	1,200	事業手法の見直しによる増
					0	
					0	
					0	
					0	
事業費合計		3,000		1,800	1,200	
内訳 自主企画事業費		3,000		1,800	1,200	
内訳 重点事業		3,000		0	3,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	平中　文朗	宮原　操

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　地域振興　課］

No.	24

予算区分	文化・ｽﾎﾟｰﾂ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成７年度

事　業　名
スポーツ・レクリエーション振興事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	24
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	2,769					2,769
前　年　度	3,969					3,969
増△減	△ 1,200	0	0	0	0	△ 1,200

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	2,719	4,019	2,719
	メリット＋一般財源	2,719	4,019	2,719
決算	事業費	2,658	3,775	2,648
	メリット＋一般財源	2,658	3,775	2,648

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	3,969	2,769
	一般財源	3,969	2,769

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	スポーツ推進委員活動及び体育協会事業などの区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興を推進します。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	6　区民要望			
地域の課題等				

区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動を振興し、心身の健康やリフレッシュ、地域交流の活性化を推進する必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「『地域の絆』づくり」
3　根拠法令・要綱等	スポーツ基本法・横浜市スポーツ推進委員規則・横浜市スポーツ推進委員推薦要綱・戸塚区体育協会補助金交付要綱・戸塚区スポーツ推進委員活動補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

1　区民体育振興事業

区体育協会に加盟する各種団体が主催する大会等に毎年多くの区民が参加しています。
各種目団体による区民大会、講習会等により区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動が推進されています。

2　スポーツ推進委員事業

各地区の事業に毎年多くの区民が参加しています。また、横浜マラソンや世界トライアスロンといった、横浜市で行う大きなスポーツイベントにも、沿道警備などの運営に携わり、地域の活動だけでなく、横浜市のスポーツ事業においても、大きな役割を担っています。

【実施内容】

《区民体育振興事業》
　区体育協会への運営費補助
《スポーツ推進委員事業》
　スポーツ推進委員連絡協議会事業の運営及び運営費補助

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民体育振興事業	自 500	自 500	0	前年度同額
スポーツ推進委員事業	自 2,269	自 3,419	△ 1,150	改選終了による減
スポーツ推進委員委嘱式	自 0	自 50	△ 50	改選終了による減
			0	
			0	
事業費合計	2,769	3,969	△ 1,200	
内訳 自主企画事業費	2,769	2,769	0	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	伊藤　英幸	陣田　翼

様式3-1

（様式３－１）　平成 30 年度　事業計画書【自主企画事業費】

［ 戸塚 区 地域振興 課］

No.	25

予算区分	文化・ｽﾎﾟｰﾂ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成27年度

事業名
区内女子スポーツ普及・応援事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	○
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	1
戦略番号	

事業評価書番号	25
事業評価書番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,560					1,560
前年度	1,210					1,210
増△減	350	0	0	0	0	350

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費		1,110	1,210
	メリット＋一般財源		1,110	1,210
決算	事業費		1,101	1,213
	メリット＋一般財源		1,101	1,213

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,210	1,210
	一般財源	1,210	1,210

方針に関する決裁　種別(　　)
有:件名（）、日付（　年　月）
(無)

事業の概要（目的）	区内に活動拠点のある女子スポーツ団体（ラグビー、サッカー等）の普及活動を支援することで、地域のチームとしての認識を深め、女子スポーツの普及と郷土愛の醸成を図ります。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	7　関係団体からの要望			

地域の課題等

区内に活動拠点のある女子スポーツ団体には、国内でもトップレベルの優秀な選手が在籍し、素晴らしい成績を収めるなど、今後の活躍に多くの期待が集まっています。しかし、区民の認知度はいまだに低く、競技人口も少ないことから、区としても広く活動を紹介し、親しみが持てるよう普及活動を支援する必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「活気に満ちた魅力あふれるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度見込み	30年度見込み
観戦ツアー参加者	48人	42人	100人	100人
体験教室参加者	129人	30人	200人	200人

【実施内容】

戸塚区に拠点をおいて活動をしている女子ラグビーチーム「YOKOHAMA TKM」、女子サッカーチーム「ニッパツ横浜ＦＣシーガルズ」、女子ソフトボールチーム「日立ソフトボール部」を応援する事業を実施します。

《女子スポーツ普及支援》
(1)ラグビー、サッカー、ソフトボールの小学生を対象とした体験教室を実施します。
(2)区のホームページ内の応援ページにより、随時各チームの成績やトピックスなどを掲載・更新します。
《スポーツ応援団》
ラグビー、サッカー、ソフトボールの市内開催試合について観戦を促し、区民が応援する機会を提供します。
《チーム紹介パネル展》
YOKOHAMA TKM、ニッパツ横浜ＦＣシーガルズ、日立ソフトボール部を紹介するパネル展を開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度		前年度		差引	説明
女子スポーツ普及支援	自	420	重	420	0	前年度同額
スポーツ応援団	自	700	重	750	△ 50	実績に基づく減
チーム紹介パネル展	自	440	重	40	400	選手等身大パネル費の増
					0	
事業費合計		1,560		1,210	350	
内訳 自主企画事業費		1,560		1,210	350	
内訳 重点事業		0		1,210	△ 1,210	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	伊藤　英幸	陣田　翼

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書　【 自主企画事業費 】

No. 26

［　戸塚　区　地域振興　課］

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成13年度

事　業　名
青少年健全育成事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	26
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,620					1,620
前　年　度	1,620					1,620
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	1,115	1,095	1,430
	メリット＋一般財源	1,115	1,095	1,430
決算	事業費	1,217	1,157	925
	メリット＋一般財源	1,217	1,157	925

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,620	1,620
	一般財源	1,620	1,620

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
(無)

事業の概要（目的）	地域の特性を生かし、地域で青少年の健全育成を目的に活動をしている団体を支援することにより、青少年の健全な育成を推進します。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	7　関係団体からの要望			

地域の課題等

少子化、就労形態等の社会的な変化等により、家族や周りの大人・友人とのコミュニケーションが不足した青少年が多くなっており、地域で青少年の育成に取り組むことが必要です。
また、地域で青少年の健全育成に取り組む団体の支援をすることにより、地域で青少年を育む環境づくりの必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「『地域の絆』づくり」
3　根拠法令・要綱等	地域で育む青少年健全育成事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】
地域で育む青少年健全育成事業補助金　（単位：事業）

	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度見込み
交付事業数	6	6	6	6	5	7

【実施内容】
《地域で育む青少年健全育成事業》
地域性を生かし、青少年の健全育成を目的として自主的に活動している団体が実施する事業に補助金を交付します（年１回５月）。
《青少年防災対応力強化事業》
中・高生を対象とした青少年の防災対応力の向上を図ります。
《「とつかこども起業塾」事業》
区内の小学校高学年から中学生を対象に、商店街店舗等に協力依頼をし、店舗経営の楽しさと難しさを学ぶ教室を複数回開催します。教室の中では市場調査等も実施し、市場にどのようなニーズがあるのかを把握し、子どもたちが自ら商品を考えます（夏休み期間中）。区内で実施するイベントにて、協力店舗に製作していただいた商品を販売する体験を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
地域で育む青少年健全育成事業	自	880	重	810	70	申請団体の増
青少年防災対応力強化事業	自	380	重	430	△ 50	29実績に基づく減
「とつかこども起業塾」事業	自	360	重	380	△ 20	29実績に基づく減
事業費合計		1,620		1,620	0	
内訳 自主企画事業費		1,620		1,620	0	
内訳 重点事業		0		1,620	△ 1,620	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	伊藤　悟	栗原　聡一朗

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 27

［　戸塚　区　地域振興　課］

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成６年度

事　業　名
青少年指導員活動支援事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	27
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	4,360					4,360
前　年　度	3,131					3,131
増△減	1,229	0	0	0	0	1,229

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	3,876	2,731	4,326
	メリット＋一般財源	3,876	2,731	4,326
決算	事業費	4,009	2,559	4,204
	メリット＋一般財源	4,009	2,559	4,204

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	3,010	4,360
	一般財源	3,010	4,360

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
㊡無

事業の概要（目的）	青少年指導員活動に対し、交付金を交付します。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	7　関係団体からの要望			

地域の課題等

少子化、就労形態等の社会的な変化等により、家族や周りの大人・友人とのコミュニケーションが不足した青少年が多くなっており、地域で青少年の育成に取り組むことが必要です。また、地域で活動する団体間の交流を促進し、市民活動のより一層の活性化を図っていく必要があります。

青少年を健全に育成していくために、地域活動の促進や社会環境健全化への取組を進めることが必要となっています。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「『地域の絆』づくり」
3　根拠法令・要綱等	横浜市青少年指導員要綱、戸塚区青少年指導員活動交付金交付要領

【実績の推移・今後見込み】

（単位：人）

	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度見込み	30年度見込み
青少年指導員数	205	197	197	210	212	212

【実施内容】

青少年指導員活動交付金として戸塚区青少年指導員連絡協議会に交付
- 区協議会活動（児童文化作品展、全体研修会、市・区の行事への参加・協力）
- 18地区協議会活動（野外活動、地域とのふれあい活動、児童文化作品展）
- 社会環境実態調査地区パトロール活動、青少年健全育成啓発キャンペーン活動

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
青少年指導員事業		自 4,310	自 3,131	1,179	ユニホーム代による増
青少年指導員委嘱式		自 50	自 0	50	委嘱式開催による増
事業費合計		4,360	3,131	1,229	
内訳	自主企画事業費	4,360	3,131	1,229	
	重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動　係
	卯都木　隆幸	伊藤　悟	栗原　聡一朗

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書　【 自主企画事業費 】

No. 28

［　戸塚　区 こども家庭支援 課］

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度

事　業　名
子育て応援事業 【「地域の子育て支援者」アシスト事業を統合】

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	28
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本　年　度	4,571					4,571
前　年　度	4,941					4,941
増△減	△ 370	0	0	0	0	△ 370

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	3,317	3,769	4,956
	メリット＋一般財源	3,317	3,769	4,956
決算	事業費	2,900	3,724	4,789
	メリット＋一般財源	2,900	3,724	4,789

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	4,571	4,571
	一般財源	4,571	4,571

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	育児に不安を抱え孤立化する養育者が増える中、妊産婦から乳幼児とその養育者等の健康の保持増進、育児不安解消のために、地域子育て支援拠点「とっとの芽」と協働で子育て支援事業を実施します。

（説　明）

1　区提案反映制度に	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段				

地域の課題等

戸塚区の平成28年の出生数は2,246人、平成29年１月１日現在の０歳～４歳人口は11,484人と、ともに市内で4番目に多く、年少人口は13.4%と市平均12.4%を上回っています。少子化や地域のつながりの希薄化が進む中での子育ては、養育者を孤立化させる可能性があり、子どもの健やかな成長を妨げかねません。身近な地域等での教室開催を通した養育者の仲間づくり、地域で子育て支援に関わる方のスキルアップやネットワーク作り、子育てをする当事者同士が相互に援助しあう関係づくりを進め、育児不安の軽減を図り、安心して子育てできる環境をつくることが求められています。

2　運営方針等との関係	目標達成に向けた施策　　３「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止法

【実績の推移・今後見込み】　（単位：組、人）

		27年度	28年度	29年度見込み	30年度見込み
土曜日両親教室	参加組数(延べ)	287	271	300	300
ひよこ会	参加者数(延べ)	7,325	6,097	6,100	6,100
３歳児親子教室	参加組数(延べ)	110	94	100	100
育児支援講座	参加組数(延べ)	—	—	75	100
「地域の子育て支援者」スキルアップ研修	参加者数	—	15	30	60

【実施内容】

〈健やか子育て応援事業〉

・土曜日両親教室:夫婦で協力し子育てに取り組む意識を高めるため、交流を図り、夫婦のパートナーシップの重要性などの講座を開催し父親の子育てを応援していきます。

・ひよこ会:乳児と養育者対象に赤ちゃん教室事業を実施します。発達に合わせた関わり方などの講話やアドバイス、個別相談を行い、さらに養育者の仲間づくりを進めます。

・育児支援講座:自己主張の強くなる2歳～3歳児の養育者を対象に、子どもへの関わり方を学ぶ育児講座を開催します。

・子ども・家庭支援相談:制度周知リーフレットを作成します。

〈「地域の子育て支援者」アシスト事業〉

・養育者の身近な地域で子育て支援活動を行っている方を対象に、スキルアップ研修を実施し、子育て支援に必要なスキルアップを図り日頃の活動に生かすことで、養育者がより安心して子育てができるよう支援します。

〈とっとの芽協働事業〉

・子育て情報の発信: 妊娠期からのメールマガジン配信、子育てガイドブックの作成により、子育てスタート期から地域情報を発信します。

・とことこフェスタの開催:子育て中の当事者と、地域で子育て支援に関わる活動を行う団体間の『つながり』を深めることを目的として開催します。情報発信や情報共有を図り、お互いの顔が見える関係を築くことを目指します。

・ネットワーク:子育て支援者によるサークル支援などにより、サークルの活性化を図るとともに、サークル同士の交流会を実施して、情報交換・活動課題の共有を図ります。

・外遊び応援事業:外遊びを通して親子の関わりを深め、地域の交流や連携を図ります。

・とつか子育て応援隊:地区別子育て連絡会の充実を図り、当時者、支援者が連携する仕組みづくりを構築していきます。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
健やか子育て応援事業		自 1,923	自 2,024	△ 101	事業手法見直しによる減
「地域の子育て支援者」アシスト事業		自 305	自 530	△ 225	講座開催方法見直しによる減
とっとの芽協働事業		自 2,343	自 2,387	△ 44	とつか子育て応援隊会議開催方法の見直しによる減
事業費合計		4,571	4,941	△ 370	
内訳	自主企画事業費	4,571	4,941	△ 370	
	重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 こども家庭支援課長	係長 こども家庭支援担当係長	係
	土井　やすみ	水井　絵美	山口　利子

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 29

［　戸塚　区　こども家庭支援　課］

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度

事業名
保育所地域子育て パワーアップ事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	30
事業評価書番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,722		60			1,662
前年度	1,918		60			1,858
増△減	△ 196	0	0	0	0	△ 196

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	2,097	2,904	2,264
	メリット＋一般財源	2,014	2,821	2,181
決算	事業費	2,312	4,732	2,362
	メリット＋一般財源	2,271	4,687	2,312

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,722	1,722
	一般財源	1,662	1,662

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	市立保育所の機能活用により地域家庭へ育児サービス等を提供する地域子育て支援を実施します。 市立・民間保育所を対象に研修等を実施し、区域全体としてより高い質の保育を提供します。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	7　関係団体からの要望	8　その他	

地域の課題等

・子育てに関わる支援を必要とする世帯が増加する中、保育所が利用児童のみならず地域に開かれた施設として、子育ての支援機関としての機能を様々な形で発揮することが期待されています。
・地域での親子の孤立化、虐待の発生を予防し、安心して子育てができる環境づくりが必要です。
・近年の保育の質に対するニーズに対応できる専門性の高い保育を継続することが不可欠です。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	児童福祉法、子ども・子育て関連３法

【実績の推移・今後見込み】

戸塚区認可保育所入所待機児童数　（丸数字は区別の順位）

21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
68人④	98人④	120人④	72人⑤	9人⑩	0人	0人	0人	0人

【実施内容】

《保育の質の向上》　区内の全保育施設を対象とした研修と交流保育を実施
《保育所子育て支援事業》　地域向けに育児相談や園庭解放・ランチ交流等を実施
保育所利用案内（戸塚区版）の作成・印刷

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
保育の質向上事業	自 258	自 308	△ 50	実績による減
保育所子育て支援事業	自 1,464	自 1,610	△ 146	実績による減
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,722	1,918	△ 196	
内訳 自主企画事業費	1,722	1,918	△ 196	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長　学校連携・こども担当課長 繁野　芳彰	係長　こども家庭係長 胡桃　千晶	こども家庭　係 清水　麻子

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　こども家庭支援　課］

No.	30

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成18年度

事　業　名
子どもを取り巻く虐待予防環境づくり事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	31
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,794					1,794
前　年　度	2,699					2,699
増△減	△ 905	0	0	0	0	△ 905

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	1,944	2,049	1,903
	メリット＋一般財源	1,944	2,049	1,903
決算	事業費	1,770	1,787	1,984
	メリット＋一般財源	1,770	1,787	1,984

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,794	1,794
	一般財源	1,794	1,794

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
㊞

事業の概要（目的）	横浜市要保護児童対策地域協議会戸塚区実務者会議の委員となっている関係機関や地域と連携を強化する一方で育児不安の高い養育者への支援を行うなど、児童虐待予防、早期発見および対応に取組みます。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	5　区民アンケート	7　関係団体からの要望	

地域の課題等

横浜市における平成28年度の児童虐待相談の対応状況は6,263件で過去最高でした。区における対応は、未就学児童の割合が70.2%と児童相談所の55.8%に比べ高いことが特徴です。関係機関などの支援体制を強化し、地域の虐待に対する意識を高めるとともに、育児不安のある未就学児の養育者の負担を軽減し、子どもを虐待から守る環境づくりを進めることが必要です。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方 「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	児童虐待の防止等に関する法律、児童福祉法、児童の権利に関する条約、横浜市要保護児童対策地域協議会戸塚区実務者会議設置・運営要綱

【実績の推移・今後見込み】
虐待通報受理件数　（単位：件）

	28年度実績	29年度見込	30年度見込
受理件数	230	240	240

【実施内容】

1　子育てサポート連絡会関連事業
　横浜市要保護児童対策地域協議会戸塚区実務者会議「戸塚区子育てサポート連絡会」を全体会２回/年を開催するほか、研修会１回/年、地区別連絡会を開催します。また、広く区民に虐待予防の普及啓発を図るため、児童虐待防止推進月間を中心に、区民まつり、横断幕の掲示、区庁舎内でのキャンペーンなどを実施し、児童虐待予防活動のＰＲに努めます。
2　養育者支援
・カウンセラーによる個別カウンセリングを行うことで、育児不安のある養育者の負担軽減を図ります。
・誰もが安心して子どもを産み育てることができるように、養育者を支援するパンフレットを作成し、育児を支援します。
・虐待通告など緊急時の迅速な対応を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
子育てサポート連絡会関連事業	自 800	自 1,145	△ 345	啓発カレンダー増刷
養育者支援	自 994	自 414	580	啓発パンフレット作成の増ほか
女性福祉相談の充実	自 0	自 1,140	△ 1,140	嘱託職員配置による減
			0	
事業費合計	1,794	2,699	△ 905	
内訳 自主企画事業費	1,794	2,699	△ 905	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	土井　やすみ	阿部　礼以亜	松崎　典子

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 31

［　戸塚　区　こども家庭支援　課］

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成24年度

事業名
とつかの子育て応援ルーム「とことこ」運営事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	32
事業評価書番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,402					6,402
前年度	5,492					5,492
増△減	910	0	0	0	0	910

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	5,078	5,223	5,223
	メリット＋一般財源	5,078	5,223	5,223
決算	事業費	5,203	5,216	5,254
	メリット＋一般財源	5,203	5,216	5,254

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	6,402	6,402
	一般財源	6,402	6,402

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	とつかの子育て応援ルーム「とことこ」において、一時託児の実施と地域の子育て情報の提供等を行います。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段				

地域の課題等

戸塚区総合庁舎で転入出等の届出を行う際には、複数の課における手続きなどに多くの時間を要する場合があり、保護者の利便性向上とともに、来所した子どもの安全性の観点からも、一時託児の実施が求められています。
また、庁舎は駅直結で利便性が高く、区内各エリアからの来庁者が見込まれることから、子育て情報の提供などをはじめとした総合的な子育て支援を実施することが求められています。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方 「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】
利用者数実績・見込み　（単位：人）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
一時託児	1,193	1,565	1,542	1,677	1,700	1,750
情報コーナー	9,822	10,698	11,974	12,695	13,500	14,000
ベビーカーレンタル	－	－	－	283	420	450
合計	11,015	12,263	13,516	14,655	15,620	16,200

※ 29年度・30年度は見込み

【実施内容】
・一時託児：未就学児とともに来庁した区民が、手続きを円滑に行うことができるよう、一時託児を実施します。
・情報コーナー：「情報コンシェルジュ」による、当事者目線を生かした子育て情報の収集や提供、ホームページを活用した情報発信を行うほか、親子サークルをはじめとする情報交換の場など、子育て応援ルーム「とことこ」を活用した子育て支援施策の充実を図ります。
・ベビーカーレンタル：戸塚駅周辺で利用できるベビーカーの無料レンタルを行うとともに、有効に活用されるよう周知を行います。
【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
子育て応援ルーム「とことこ」運営事業	自 6,402	自 5,492	910	人件費の増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	6,402	5,492	910	
内訳 自主企画事業費	6,402	5,492	910	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長　こども家庭支援課長 土井　やすみ	係長　こども家庭支援担当係長 水井　絵美	こども家庭　係 村本　美由紀

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 32

［　戸塚　区　こども家庭支援　課］

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	学校連携	事業開始年度	平成17年度

事　業　名
学校・家庭・地域協働事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	33
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,010					1,010
前　年　度	1,010					1,010
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	940	940	940
	メリット＋一般財源	940	940	940
決算	事業費	810	745	904
	メリット＋一般財源	810	745	904

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,010	1,010
	一般財源	1,010	1,010

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
無

事業の概要（目的）	区内の11中学校区において、学校・家庭・地域とが協働で行う事業を通じて、青少年の健全な育成を図ります。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	7　関係団体からの要望			
地域の課題等				

少子化や就労形態等の社会的な変化等により、家族や周りの大人・友人とのコミュニケーションが不足した青少年が多くなっており、地域で青少年の育成に取り組むことが必要です。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	戸塚区学校・家庭・地域協働事業交付金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

（単位：事業）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込
交付事業数	22	24	24	24	26	27	27

【実施内容】

各中学校区実行委員会に対し、総会開催経費等に充てる基本交付金と地域の特性を生かして中学校区毎に学校、家庭、地域が連携、協働して実施する青少年の健全育成事業に対する事業交付金を交付します。事業交付金の交付にあたっては、全中学校区実行委員会に対してヒアリングを行うとともに、地域・学校・関係団体代表より意見を聴取し、交付額を決定します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
学校・家庭・地域協働事業	自 1,010	自 1,010	0	前年度同額
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,010	1,010	0	
内訳　自主企画事業費	1,010	1,010	0	
内訳　重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	繁野　芳彰	唐澤　英和	布施　裕紀子

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　福祉保健　課］

No.	33

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成24年度

事　業　名
とつか健康パワーアップ事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

戦略番号	1
戦略番号	

事業評価書番号	35
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,549					1,549
前　年　度	1,068					1,068
増△減	481	0	0	0	0	481

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	980	2,068	1,068
	メリット＋一般財源	980	2,068	1,068
決算	事業費	1,000	1,960	1,381
	メリット＋一般財源	1,000	1,960	1,381

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,549	1,549
	一般財源	1,549	1,549

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	福祉保健センターが実施する健康づくり事業のパートナーである保健活動推進員と食生活等改善推進員の活動を広く区民に周知するとともに、その活動を支援します。 また、健康まつりを通じて区民の健康づくりへの関心を促します。さらに、運動習慣の少ない世代を中心に、スロジョグ®やマラニックの普及に努め、運動習慣の確立を目指します。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段				
地域の課題等				

・健康づくりの推進役である保健活動推進員や食生活等改善推進員に対する区民の認知度を高める仕組みが必要です。
・「横浜市食育推進計画」を推進するため、食生活等改善推進員の協力が必要不可欠です。
・健康に関心のない人や日ごろ区役所の健康講座等に参加する機会のない人に対しても健康づくりに親しむ機会が必要です。
・働き子育て世代は、普段から運動する習慣が少なく、気軽に楽しくできる運動の啓発と、運動の継続支援が必要です。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	健康増進法、横浜市がん撲滅推進条例、第２期健康横浜21、横浜市食育推進計画、横浜市保健活動推進員規則、食生活等改善推進員養成及び活動支援事業実施要領、戸塚健康まつり補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度見込
健康まつり参加者数	9,116人	7,928人	8,300人
親子食育講座実施回数	11回	11回	11回

・保健活動推進員及び食生活等改善推進員の周知活動として、引き続き活動紹介のリーフレットを作成していきます。
　また、保健活動推進員制度70周年にあたり、記念講演会を実施することで更なる認知度の向上を図ります。
・スロジョグ®やマラニックを通して働き子育て世代に運動習慣をつけるとともに、スロジョグ®の認知度向上も図ります。

【実施内容】

《団体による健康啓発》
・幅広い年代が健康づくりに関心を持ち、取り組めるように啓発するため、健康まつりを開催します。
・食生活等改善推進員を中心に小中学生とその保護者を対象に親子食育講座を開催します。
　また、必要な物品の提供など活動支援を行います。
《周知活動》
・保健活動推進員の活動紹介、食生活等改善推進員の活動紹介やレシピを紹介する冊子を作成し、区民に広く周知します。
・保健活動推進員制度70周年の節目の年として、広く区民を対象とした健康に関する記念講演会を実施します。
《マラニック等イベント》
・運動習慣の少ない世代（家族・仲間）を対象にマラソンとピクニックを掛け合わせた通称「マラニック」を、区内の名所等を巡るコースで実施します。
　実施の企画・準備は、スロジョグ経験のある区民と協働して行います。
・マラニック・スロジョグ®の普及・啓発講座を実施します。
《柏尾川ナイトラン》
・柏尾川ナイトラン１コース（５回）の講座を開催し、スロジョグ®講師による実技指導等を実施します。
　講座終了後には、参加者同士がつながり、自主活動グループに移行することを目指します。

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
団体による健康啓発	重	606	自	630	△ 24	実績に基づく減
周知活動	重	372	自	295	77	記念講演会の実施による増
食生活等改善推進員の活動支援	重	110	自	143	△ 33	実績に基づく減
マラニック等イベント	重	321		0	321	新規事業
柏尾川ナイトラン	重	140		0	140	新規事業
事業費合計		1,549		1,068	481	
内訳 自主企画事業費		1,549		1,068	481	
内訳 重点事業		1,549		0	1,549	

	課長	係長	健康づくり 係
本資料は、公正・適正に作成しました。	松本　真佐人	武島　かおり	若林　園子

（　戸塚　区 － 33）

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 34

［　戸塚　区　福祉保健　課］

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成28年度

事　業　名
がんについて考えよう ～とつかがん対策事業～

特記事項	
未来のまちづくり戦略	○
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

戦略番号	1
戦略番号	

事業評価書番号	36
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	980					980
前　年　度	700					700
増△減	280	0	0	0	0	280

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	0	0	1,000
	メリット＋一般財源	0	0	1,000
決算	事業費	0	0	905
	メリット＋一般財源	0	0	905

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	980	980
	一般財源	980	980

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
無

事業の概要（目的）	がん撲滅に向けた戸塚区独自の各種啓発イベント等を実施することにより、がん検診受診率向上、喫煙率減少等を通じて、がんの克服を目指します。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	8　その他			

地域の課題等

・本市のがん検診の受診率は、他の政令市と比較して低い。
・戸塚区のがん検診受診率は、横浜市のがん検診受診率を概ね超えているが、子宮がん検診は下回っており、対策が必要である。
・禁煙については、若年層での啓発を強化する必要がある。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	がん対策基本法、第２期健康横浜21、横浜市がん撲滅条例

【実績の推移・今後見込み】

・平成28年度の講演会は、乳がんをテーマに実施した（455人）
・平成29年度の講演会は、がん検診受診率向上に視点を置いた講演及び啓発を実施した（238人）

【実施内容】

・がん講演会
　早期発見・早期治療で完治が期待できる子宮がんを対象とした講演会を実施します。
・がん予防啓発展
　講演会開催当日や、開催前後の1週間程度、パネル展示や禁煙指導等によるがん撲滅の啓発を実施します。
・健康まつりがん検診啓発
　健康まつりにおいて、横浜市がん検診受診啓発を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
がんに関する講演会	自 854	自 700	154	託児実施による増
がん予防啓発展	自 126	自 0	126	新規計上による増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	980	700	280	
内訳 自主企画事業費	980		980	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり　係
	松本　真佐人	武島　かおり	穂満　晶子

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 35

［　戸塚　区　福祉保健　課］

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成29年度

事　業　名
大学と連携した子ども健康づくり事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	○
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	1
戦略番号	

事業評価書番号	
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,198					1,198
前　年　度	1,000					1,000
増△減	198	0	0	0	0	198

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	0	0	0
	メリット＋一般財源	0	0	0
決算	事業費	0	0	0
	メリット＋一般財源	0	0	0

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,198	1,198
	一般財源	1,198	1,198

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	生活習慣病は、健康寿命延伸を左右する大きな原因であり、その予防には、若年のときから対策を講じることが特に重要とされています。また、「働き・子育て世代」の親は、自分の健康を二の次に考える年代です。そこで、小学生高学年・中学生とその親を対象に、親子参加型のイベントを戸塚区の医療系大学と連携して開催し、健康について考えるきっかけづくりをし、生活習慣病の予防を啓発していきます。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	8　その他			

地域の課題等

平成26年度版厚生労働白書から、平成25年の生活習慣病関連疾病は、医療費のうちの医科診療医療費の約３割、死因の約６割を占めています。生活習慣の改善が健康寿命を伸ばすことにつながり、医療費の負担軽減にもつながります。
親子参加型のイベントを開催することで、子どもが健康について考えるきっかけを作るとともに、「働き・子育て世代」の親にも健康について振り返る機会を提供し、生活習慣病の予防を意識付けすることにより、将来に向けた健康寿命を伸ばし、医療費の削減を図ります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	健康増進法、第２期健康横浜21

【実績の推移・今後見込み】

・平成29年度は、戸塚区内の医療系大学2大学や横浜体育協会、関連団体と連携・協力し、それぞれの専門性を生かして、生活習慣病予防啓発を協働で実施しました。（517人）
・平成30年度も、子どもには自分の健康を考えるきっかけに、親世代には自分の健康に目を向けるよう体験型のイベントを実施し、健康意識を高め、生活習慣病への防止を図ります。（800人）

【実施内容】

・親子参加型イベントを戸塚区内医療系２大学や横浜市体育協会、関連団体と連携・協力して実施します。
・ブースの出展内容については、事業の目的に則し、出展団体と協議し決定します。
・スタンプラリーを実施し、達成者には啓発物品を配付します。
・イベントの周知のためのチラシの印刷、会場の設営を委託します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
大学と連携した子ども健康づくり事業	自	1,198	重	1,000	198	測定委託による増
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
事業費合計		1,198		1,000	198	
内訳	自主企画事業費				0	
	重点事業	0		1,000	△ 1,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり　係
	松本　真佐人	武島　かおり	穂満　晶子

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 36

［　戸塚　区　福祉保健　課］

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成23年度

事業名	特記事項		戦略番号		事業評価書番号	37
子育て家庭のヘルスアップ事業	未来のまちづくり戦略		戦略番号		事業評価書番号	
	重点事業					
	新規・拡充					
	温暖化対策関連事業					

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	841					841
前年度	950					950
増△減	△ 109	0	0	0	0	△ 109

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	401	427	822
	メリット＋一般財源	401	427	822
決算	事業費	405	422	790
	メリット＋一般財源	405	422	790

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	841	841
	一般財源	841	841

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	歯が生え始め、離乳食が始まる4～6か月親子を対象に、早期から口腔ケアの方法・口腔機能の発達に合わせた健全な食習慣形成の支援をするとともに、家事や子育て優先で後回しになりがちな保護者自身の健康を見直し、食・口腔・運動の3方向から親子の健康づくりを支援します。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	6　区民要望	5　区民アンケート		

地域の課題等

・現在行われている「乳幼児歯科・食生活相談」「地域育児教室」事業等では、０歳児の保護者から歯みがきや離乳食の今後の進め方を知りたいというニーズがとても高く、楽しい雰囲気の中で、保護者にとってはじめての歯みがき・離乳食の不安を解消し、早期に乳幼児のう蝕予防や食育に関する知識や技術を学ぶ機会を設ける必要があります。
・４０歳以降に急速に増加していく歯周疾患を予防するために、子育てに忙しく後回しになりがちなこの時期の母親自身の口腔内の健康を見直す機会が必要です。
・この時期の母親は習慣的に運動することが難しく、赤ちゃんと楽しみながら日常生活の中で気軽に取り入れられる運動の啓発が必要です。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	食育基本法、健康増進法、母子保健法、、第２期健康横浜21　「育ち・学びの世代の行動目標」、横浜市食育推進計画、歯科口腔保健の推進に関する法律

【実績の推移・今後見込み】
[平成29年度実績]
《親子のクッキングと歯みがきレッスン》年２回（４～６歳児の親子対象）実施
・７月８日実施　18組（36人）参加
・１月27日実施　22組（43人）参加
《保護者のお口の健康チェック》
・６月８日実施（戸塚歯科医師会関連イベント内）　39人参加
・４か月健診時に実施

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
参加者数	18人	31人	42人	47人	66人	54人	68人	75人	49人	54人

【実施内容】
《はじめての歯びか教室》（平成29年度：親子のクッキングと歯磨きレッスン）　年12回（４～６か月児の親子対象：各回25組）実施
・講話「歯みがきスタートと家族のお口の健康について」、歯みがきレッスン、唾液でわかる歯周病チェック
・講話「離乳食の進め方」、実演「10倍粥とだしの取り方」
・親子体操
・歯びか教室参加者、及び４か月健診に来場した保護者にテキストを配布
《保護者のお口の健康チェック》　６月の戸塚歯科医師会関連イベント内で来場保護者に実施
・唾液でわかる歯周病チェック

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
はじめての歯びか教室	自	813	319	494	教室内容・開催回数見直しによる増
保護者のお口の健康チェック	自	28	631	△ 603	回数見直しによる減
				0	
事業費合計		841	950	△ 109	
内訳 自主企画事業費		841	950	△ 109	
内訳 重点事業		0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり　係
	松本　真左人	武島　かおり	高橋　あゆみ

様式3-1

（様式３－１）　平成 30 年度　事業計画書【自主企画事業費】

No. 37

［ 戸塚 区 福祉保健 課］

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成15年度

事業名	特記事項		戦略番号		事業評価書番号	38
とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）推進事業	未来のまちづくり戦略		戦略番号		事業評価書番号	
	重点事業	○				
	新規・拡充					
	温暖化対策関連事業					

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,341					4,341
前年度	3,009					3,009
増△減	1,332	0	0	0	0	1,332

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	1,884	3,827	2,318
	メリット＋一般財源	1,884	3,827	2,318
決算	事業費	1,883	4,039	2,413
	メリット＋一般財源	1,883	4,039	2,413

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	4,341	4,341
	一般財源	4,341	4,341

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	平成28年度から５か年に及ぶ第３期ハートプランを推進することで、地域の福祉保健の充実を図ります。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	3　地区担当制度	4　地区懇談会	6　区民要望	7　関係団体からの要望

地域の課題等

第３期計画から、連合・地区社協エリアごとに地区別計画の推進に取り組んでいます。第３期計画の中間年であり、地域の皆さまによる主体的な取組がより一層推進されるとともに、進捗の振り返りを行う機会を持てるよう、地域連携チーム（区役所・区社協・地域ケアプラザ）が一体となって、ともに取り組んでいく必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	社会福祉法107条、とつかハートプラン補助金交付要綱、とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）策定・推進委員会運営要綱

【実績の推移・今後見込み】

平成28年度より第３期とつかハートプランが始まり、連合・地区社協エリアごとで推進しているため、地域の特性に合った、きめ細やかな取組が進んできています。引き続き地域連携チームの支援のもと、地域のみなさまが主体となって取り組んでいくことができること、取組がつながり、継続・発展していくことを目指しています。また、地域包括ケアシステムの構築と連携しながら、計画を推進してきます。

【実施内容】

《とつかハートプランの推進》
・区計画と地区別計画の取組が進むよう、とつかハートプラン策定・推進委員会を開催するとともに、地区別計画推進委員会を支援します。
《18地区情報共有連絡会の開催》
・地区別計画の活動支援を行うため、また地域を越えた共有の場を確保するために、18地区情報共有連絡会を開催します。
《とつかハートプラン取組推進支援（補助金）》
・計画の推進に沿った地域活動を支援する補助金を交付します。
《とつかハートプランの普及啓発》
・とつかハートプランの周知や“こころんマスコット”が、地域の繋がりづくりの活動の目印として寄与できるように、広報を行うとともに、啓発グッズを作成し、ハートプラン推進に関わる地域の活動やイベントで活用します。
《地域連携チーム研修》
・地域連携チームのメンバーが、地域との連携の中で必要となる知識や技術を習得することができるよう、区政推進課地域力推進担当と協力しながら実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度		前年度	差引	説明
とつかハートプランの推進	重	151	重	230	△ 79	実績に基づく減
18地区情報共有連絡会の開催	重	21	重	40	△ 19	開催手法変更による増
とつかハートプラン取組推進支援	重	1,008	重	1,210	△ 202	実績に基づく減
とつかハートプランの普及啓発	重	3,086	重	1,424	1,662	事業手法変更による増
地域連携チーム研修	重	75	重	105	△ 30	通知方法の工夫による減
		0		0	0	
事業費合計		4,341		3,009	1,332	
内訳 自主企画事業費		4,341		3,009	1,332	
内訳 重点事業		4,341		3,009	1,332	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	松本　真佐人	堀内　智美	谷口　洋一

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 38

［　戸塚　区　高齢・障害支援　課］

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成19年度

事　業　名
～地域で支える～こころの健康福祉ネットワーク事業

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	39
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	983					983
前　年　度	990					990
増△減	△ 7	0	0	0	0	△ 7

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	899	900	900
	メリット＋一般財源	899	900	900
決算	事業費	978	900	893
	メリット＋一般財源	978	900	893

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	983	983
	一般財源	983	983

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	精神障害者の地域生活を支援する目的で、身近な地域ケアプラザで精神障害者向けの活動支援と普及啓発を行います。

（説　　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段				

地域の課題等

29年3月末現在の戸塚区の精神保健福祉手帳所持者数は2,556人で、18区中1位です。また区内には精神科の入院病床が多数存在しています。精神障害者の地域生活を支援するために、①住み慣れた地域の中に安心して過ごせる場所を作ること、②関係機関との連携を図りながら、支援体制の強化を協働で進めていくこと、③精神障害に関わる普及啓発活動を継続して実施していくことが必要です。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	障害者基本法、障害者総合支援法、精神保健および精神障害者の福祉に関する法律

【実績の推移・今後見込み】

精神障害当事者向けの活動支援のため地域ケアプラザを会場とした通称「あったまり場」を定期的に開設します。活動を通じ精神障害者への理解を深め、地域への普及啓発を行います。

「精神保健福祉連絡会」は地域の関係機関との連携強化と活動の安定を目的に、29年度より自立支援協議会の分科会に移行したため終了とします。

【実施内容】

精神障害当事者向けの活動支援の実施「あったまり場事業」

身近な地域ケアプラザで精神障害者の活動支援を行い、当事者相互の支えあいを通じたエンパワメント（力を伸ばす）を図るとともに、地域のボランティアにも支援者として参加していただくことで、地域啓発の一助とします。なお、実施にあたり戸塚区生活支援センターや精神障害者を対象として活動する団体と連携します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
精神障害当事者向けの活動支援の実施「あったまり場事業」	自 983	自 983	0	
戸塚区精神保健福祉連絡会開催	自 0	自 7	△ 7	自立支援協議会・精神保健福祉部会へ移行による減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	983	990	△ 7	
内訳 自主企画事業費	983	990	△ 7	
内訳 重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 高瀬　健次	係長 小池　美恵子	係 上田　美穂

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

No. 39

［　戸塚　区　高齢・障害支援　課］

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成15年度

事業名	特記事項		戦略番号		事業評価書番号	40
戸塚区高齢者見守りネットワーク事業	未来のまちづくり戦略		戦略番号		事業評価書番号	
	重点事業					
	新規・拡充					
	温暖化対策関連事業					

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,072					2,072
前年度	2,078					2,078
増△減	△ 6	0	0	0	0	△ 6

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	3,406	2,039	2,448
	メリット＋一般財源	3,406	2,039	2,448
決算	事業費	2,695	1,977	2,319
	メリット＋一般財源	2,695	1,977	2,319

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	2,072	2,072
	一般財源	2,072	2,072

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	地域の人々や事業者、ケアプラザと連携をとりつつ「見守り・声かけ」を中心とした活動を行うことで、孤立等の不安を抱えるひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮し続けることを目的とします。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等			

地域の課題等

・とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）策定に関する地域懇話会などで、ひとり暮らし高齢者等が安心して地域で暮らし続けるため「地域で互いに支え合えるしくみづくり」は緊要な課題となっています。
・高齢者の孤独死や行方不明問題等の課題を解決するためにも、ひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域の人々の参加・協力により「見守り・声かけ」を中心とした活動が行われるしくみが必要となっています。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	戸塚区地域ネットワーク訪問事業実施要綱、戸塚区地域ネットワーク見守り事業実施要綱、横浜市徘徊認知症高齢者地域支援事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】

1　地域ネットワーク訪問事業　ひとり暮らし高齢者訪問実施状況の推移（各年度３月分件数）　（単位：件）

	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度見込み	30年度見込み
訪問実績延数	5,313	5,306	5,475	5,881	5,526	5,900	5,900

2　地域ネットワーク見守り事業

(1) 協力事業者等からの通報件数

25年度	26年度	27年度	28年度
29	26	25	31

(2) 登録事業者の推移（年度末時点の登録数）

25年度	26年度	27年度	28年度
72	369	373	383

3　徘徊高齢者SOSネットワーク事業　「みつけてネット」登録者数(単位:人)

	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度末登録者数
新規	55	56	56	84	136
削除	5	46	0※	4	

※H28.2月要綱改正に伴い全員再度登録を行ったため削除が０件

【実施内容】

《地域ネットワーク訪問事業》
　定期訪問・支えあい体制づくりについて、戸塚区社会福祉協議会への委託事業
　＜委託内容＞
　(1) 各地区社会福祉協議会による訪問員（民生委員、友愛活動員等）の定期的な「見守り・声かけ」活動の実施
　(2) 地区内の訪問活動の情報交換や連絡調整を行うための「戸塚区地域ネットワーク訪問事業地区連絡会」の開催（各地区年4回）
　(3) 訪問員のスキルアップのための研修会の実施など訪問員や福祉ボランティアの確保・育成
　(4) 区内全体の情報交換及び連絡調整のための「戸塚区地域ネットワーク訪問事業代表者会議」の実施

《地域ネットワーク見守り事業》
　(1) ひとり暮らし高齢者等が安心して暮らし続けられるよう、地域全体で「ゆるやかな見守りの体制」の充実を図り、地域住民及び民間事業者等が、緊急的な対応等が必要な高齢者を発見したら、地域ケアプラザや区に対し情報提供し対応する体制を強化します。
　(2) 区及び地域ケアプラザは、郵便配達や新聞配達、電気・ガス等の検針員等の関係機関と連携を図るため、関係機関に周知・協力を依頼し、見守りに関する事業者等との協力関係を強化します。
　(3) 「みまもりネット」連絡会を開催し、関係機関や協力事業者との意見交換を行います。
　(4) 広報、啓発等を積極的に行い、地域や事業所への見守りの充実を図ります。

《徘徊高齢者ＳＯＳネットワーク事業》
　(1) 徘徊高齢者ＳＯＳネットワーク事業（健康福祉局の認知症支援事業の補完）
　(2) 広報、啓発（ステッカー配布）等を積極的に行い、地域や事業所の認知症の方への理解や見守りの充実を図ります。

《地域包括ケアシステム構築推進事業》
　高齢者が住み慣れた自宅や地域で暮らし続けることができるように、地域社会での助け合い・支え合いのできる仕組みづくりに向けた取組を行います。
　地域包括ケア構築に向けた検討会等にて、地域福祉に精通する有識者から助言を受けながら進めます。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
地域ネットワーク訪問事業	自	775	704	71	実施地区の増
地域ネットワーク見守り事業	自	1,096	1,010	86	印刷製本費の減
徘徊高齢者SOSネットワーク事業	自	156	144	12	普及啓発物品の増
地域包括ケアシステム構築推進事業	自	45	220	△ 175	実績による減
事業費合計		2,072	2,078	△ 6	
内訳 自主企画事業費		2,072	2,078	△ 6	
内訳 重点事業		0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害　係
	髙瀬　健次	石川　令	木村　伸

様式3-1

（様式３－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書【自主企画事業費】

［　戸塚　区　生活衛生　課］

No.	40

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成19年度

事　業　名
快適な暮らし応援事業 ～食の安全・生活衛生の強化～

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	41
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	517					517
前　年　度	610					610
増△減	△ 93	0	0	0	0	△ 93

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	419	421	432
	メリット＋一般財源	419	421	432
決算	事業費	406	464	555
	メリット＋一般財源	406	464	555

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	517	515
	一般財源	517	515

方針に関する決裁　種別（　）
有：件名（）、日付（　年　月）
（無）

事業の概要（目的）	食中毒や感染症による健康被害の予防、ペットの適正飼育の推進、飼い主のいない猫対策等により、区民の安全で快適な生活を確保します。

（説　明）

1　区提案反映制度における提案状況	調書番号	No.	項目	
地域のニーズ等の収集手段	1　日常の窓口応対等	3　地区担当制度	5　区民アンケート	6　区民要望

地域の課題等

ノロウイルスによる食中毒や集団感染が市内で多数発生している中、各施設の衛生管理を強化するとともに、区民への適切な情報提供を進め、健康被害を未然に防ぐ必要があります。特に子どもや高齢者は重症化しやすいため、保育施設や高齢者福祉施設への重点的な衛生点検や、区民への効果的な啓発が必要です。
　飼い主のいない猫への不適切な給餌に関する相談が多数寄せられており、繁殖制限やルールに基づく外猫の管理に関する啓発や対策の支援を、ボランティアと行政が協調して強力に推進する必要があります。

2　運営方針等との関係	平成29年度戸塚区運営方針　目標達成に向けた取組の考え方　「誰もが安心して暮らせるまちづくり」
3　根拠法令・要綱等	食品安全基本法、食品衛生法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、横浜市猫の適正飼育ガイドライン、横浜市食品衛生監視指導計画、横浜市環境衛生業務実施計画　等

【実績の推移・今後見込み】

	27年度	28年度	29年度(見込)	30年度以降の事業展開
食中毒・感染症予防に関する啓発	31	37	38	啓発の継続
犬・猫等に関する苦情対応件数	491	465	480	啓発/支援を担うボランティアの支援
ハチに関する苦情対応件数	615	410	410	補助金の廃止に伴う自主駆除の支援
災害時に向けたペット対策に関する啓発	3件	9件	5件・3,000枚	飼い主に向けた啓発を継続

【実施内容】
《食中毒・感染症等対策事業》
　子どもや高齢者利用施設での食中毒・感染症による健康被害を予防するため、区民への啓発・区内施設の衛生点検を実施
（１）区民広間で、食中毒・感染症の基礎知識や予防方法を啓発するパネル展を開催
（２）保育所やグループホーム、配食サービスなど、子どもや高齢者利用施設を対象に、衛生点検や講習会、手洗い実習等を実施
《ハチ対策及び動物適正飼育啓発事業》
　区民からの相談・苦情が多いハチの巣や飼い主のいない猫問題について、区民への啓発及び対策の支援
（１）区民広間で、ハチの巣の早期発見・早期駆除を啓発するパネル展を開催し、ハチによる刺傷事故を防止
（２）ハチの巣の駆除機材の貸出を行い、安全な自主駆除を支援
（３）災害時に向けた飼い主の備えや地域防災拠点での受入ルール整備について、飼い主への啓発や拠点運営委員への働きかけ
（４）飼い主のいない猫対策を行政とともに担うボランティアへの活動支援【新規】

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
食中毒・感染症等対策事業		自 261	自 261	0	前年度同額
ハチ対策及び動物適正飼育啓発事業		自 256	自 349	△ 93	器具購入の見直しによる減
事業費合計		517	610	△ 93	
内訳	自主企画事業費	517	610	△ 93	
	重点事業	0	0	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係長
	磯田　信一	筧　佳世子	川崎　俊明

平成30年度　　戸塚区個性ある区づくり推進費【一般管理費】一覧

（単位：千円）

事業名	30年度		29年度		増△減（30－29）	
	総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
統合事務費	31,133	30,818	31,113	30,818	20	0
区庁舎等	72,033	52,981	75,383	53,608	△ 3,350	△ 627
行政サービスコーナー	1,659	1,652	1,693	1,688	△ 34	△ 36
区版市民活動支援センター	35,234	35,234	35,234	35,234	0	0
土木事務所	11,234	11,168	11,315	11,243	△ 81	△ 75
公会堂	30,858	30,858	30,883	30,883	△ 25	△ 25
区民利用施設（地区センター他委託館）	391,477	391,405	390,001	389,929	1,476	1,476
区民利用施設（広場・遊び場）	1,376	1,376	1,472	1,472	△ 96	△ 96
区庁舎・区民利用施設修繕費	5,550	5,550	6,900	6,900	△ 1,350	△ 1,350

様式5-1

（様式５－１）　平　成　30　年　度　　事　業　計　画　書　【　統合事務費　】

［　戸塚　区　　総務　　課］

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	その他	事業開始年度	平成26年度

事　業　名
統合事務費

特記事項	
未来のまちづくり戦略	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

戦略番号	
戦略番号	

事業評価書番号	1
事業評価書番号	

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一　般　財　源
		国・県	諸収入			
本　年　度	31,133		315			30,818
前　年　度	31,113		295			30,818
増△減	20	0	20	0	0	0

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	21,596	27,814	30,798
	メリット＋一般財源	21,301	27,519	30,503
決算	事業費	30,640	30,419	31,706
	メリット＋一般財源	30,645	30,124	31,411

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	31,133	31,133
	一般財源	30,818	30,818

方針に関する決裁　種別（　　）
有：件名（）、日付（　年　月）
無

事業の概要（目的）	区役所と福祉保健センターの運営における効率的かつ安定した運営のための事務経費

（説　　明）

運営方針等との関係	

【実績の推移・今後見込み】

【実施内容】

区役所と福祉保健センターの運営における効率的かつ安定した運営のための事務経費

【事業費の内訳】

（単位：千円）

細目事業	本年度	前年度	差引	説明
総務課	7,931	9,612	△ 1,681	実績による減
区政推進課	585	662	△ 77	実績による減
地域振興課	949	614	335	実績による増
戸籍課	4,283	4,306	△ 23	実績による減
福祉保健課	2,683	1,663	1,020	実績による増
高齢・障害支援課	3,345	3,084	261	実績による増
こども家庭支援課	2,290	2,144	146	実績による増
生活支援課	8,843	8,843	0	前年度同額
土木事務所	224	185	39	実績による増
合計	31,133	31,113	20	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整 係
	齋藤　真美奈	松隈　さやか	小室　浩正

（　戸塚　区 － 事 ）

（様式４－１）

平成30年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

［　戸塚　区　　総務　　課］　　（単位：千円）

事業区分	区庁舎等	施設区分	区庁舎 駐車場 車両	担当	総務 課	予算調整 係
					担当者：　磯田　TEL　866-8306	

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	72,033		19,052			52,981
前　年　度	75,383		21,775			53,608
増△減	△ 3,350	0	△ 2,723	0	0	△ 627

事業評価書番号	2
事業評価書番号	

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	93,395	77,331	79,040
	メリット＋一般財源	63,649	54,210	53,100
決算	事業費	90,692	79,694	78,901
	メリット＋一般財源	65,147	59,799	78,997

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	73,000	73,000
	一般財源	53,000	53,000

方針に関する決裁　種別（　　）
有:件名（）、日付（　年　月）
無

（事業目的・概要）
　戸塚 区（総合）庁舎、駐車場及び公用車等の管理運営を行います。
（根拠法令等）
　消防法、建築基準法、駐車場法、道路運送車両法、租税特別措置法、
　高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律、
　建築物における衛生的環境の確保に関する法律、横浜市区役所職員派出所設置規程、横浜市駐車場条例等
（施設概要等）

施設区分	名　称 （開設年月日）	所在地	構造	施設内容
区庁舎	戸塚区総合庁舎 （平成25年３月１日）	戸塚区戸塚町16番地17	RC造、SRC造、S造 地上９階地下３階	区庁舎・区文・交通広場・ 駐車場・駐輪場
公用車			区長車１台、総務部庁用車８台、 福祉保健センター庁用車12台	

（積算内訳）　　（単位：千円）

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】				（28年度決算）　18,036,636円
広告料収入（モニター）	2,616	2,616	0	2,616,000円
目的外使用料（モニター）	163	163	0	163,836円
光熱水費負担金	15,085	17,789	△ 2,704	15,088,100円
古紙売却収入	168	187	△ 19	168,700円
建物貸付料収入	1,020	1,020	0	0円
合計	19,052	21,775	△ 2,723	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】				
＜管理運営＞	7,931	4,935	2,996	
11節(1)消耗品費	施設維持用 3,032	2,391	641	実績の増
11節(2)燃料費	自家発電機用 100	0	100	電気設備点検に伴う運転時補充の増
11節(4)印刷製本費	ルート回収 15	38	△ 23	実績の減
13節(1)清掃設備保守委託料	734	700	34	
設備等保守点検委託				
清掃、ごみ処理等	734	700	34	実績の増
13節(4)企画調査その他委託料	3,500	1,000	2,500	実績の増
	庁舎環境整備委託			
14節(1)使用料及び賃借料	0	206	△ 206	大正吏員派出所閉鎖による減
18節(1)庁内備品費	施設維持用 500	500	0	前年度同額
19節(40)会費及び負担金	講習受講料 50	100	△ 50	実績の減
＜管理費（公共料金）＞	58,658	64,932	△ 6,274	実績の減
＜公用車管理運営＞	5,444	5,516	△ 72	
11節(2)燃料費	ガソリン代 721	1,000	△ 279	実績の減
12節(4)手数料	437	42	395	実績の増
	定期点検・タイヤ交換			
14節(1)使用料及び賃借料	4,263	4,444	△ 181	
車両リース料	4,257	4,444	△ 187	実績の減
駐車料金・高速道路代	6		6	
27節公課費	23	30	△ 7	実績の減
自動車重量税				

（うち税務車両）				
11節(2)燃料費	153	260	△ 107	実績の減
14節(1)使用料及び賃借料	741	879	△ 138	実績の減
車両リース料	735		735	
駐車料金・高速道路代	6		6	
27節公課費	0	0	0	
自動車重量税				
合計	72,033	75,383	△ 3,350	

	課長	係長	予算調整 係
本資料は、公正・適正に作成しました。	齋藤 真奈美	松隈 さやか	磯田 直輝

（ 戸塚 区 ー 区庁舎）

（様式４－１）

平成30年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

［　戸塚　区　　総務　　課］

（単位：千円）

事業区分	区庁舎等	施設区分	行政サービスコーナー	担当	総務 課　　予算調整 係
					担当者：　磯田　　℡　866-8306

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,659		7			1,652
前　年　度	1,693		5			1,688
増△減	△ 34	0	2	0	0	△ 36

事業評価書番号	3
事業評価書番号	

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	11,998	1,711	1,672
	メリット＋一般財源	1,158	1,706	1,667
決算	事業費	1,627	1,651	2,227
	メリット＋一般財源	1,622	1,645	2,174

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,660	16,660
	一般財源	1,653	1,653

方針に関する決裁　種別（　　）

有:件名（）、日付（　年　月）

（無）

（事業目的・概要）

（根拠法令等）
　横浜市行政サービスコーナー規則

（施設概要等）

名　称（開設年月日）	所在地	構造	施設内容
行政サービスコーナー	戸塚区品濃町692	鉄骨プレハブ造 延床156㎡	JR東戸塚駅連絡施設内

（積算内訳）　　（単位：千円）

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】				（28年度決算）
古紙売却収入	7	5		7,274円
合計	7	5	0	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】				
管理運営経費	574	559	15	
11節(4)印刷製本費	ルート回収 5	5	0	前年度同額
13節(1)清掃設備保守委託料	512	497	15	実績による増
・警備委託	173	173	0	前年度同額
・清掃委託	100	100	0	前年度同額
・自動ドア保守点検	54	54	0	前年度同額
・消防設備点検	60	60	0	前年度同額
・ルート回収	125	110	15	実績による増
14節(1)使用料及び賃借料	57	57	0	前年度同額
	マットレンタル			
＜管理費（公共料金）＞	1,085	1,134	△ 49	実績の減
合計	1,659	1,693	△ 34	

資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	予算調整係
	齋藤　真奈美	松隈　さやか	磯田　直輝

（　　戸塚 区 － 行 ）

（様式４－１）

平成30年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

［　戸塚　区　地域振興　課］

（単位：千円）

事業区分	区庁舎等	施設区分	区民活動支援センター	担当	地域振興 課　　地域活動 係
					担当者：　安藤　TEL　866-8416

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	35,234					35,234
前　年　度	35,234					35,234
増△減	0	0	0	0	0	0

事業評価書番号	5
事業評価書番号	

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	31,854	35,234	35,234
	メリット＋一般財源	31,854	35,234	35,234
決算	事業費	32,145	35,234	35,234
	メリット＋一般財源	32,145	35,234	35,234

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	35,235	35,235
	一般財源	35,235	35,235

方針に関する決裁　種別（　　）

有:件名（）、日付（　年　月）

（無）

（事業目的・概要）

地域の課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組んでいけるような社会の実現を目指し、NPO法人と協働でとつか区民活動センターの運営を行う。

（根拠法令等）

市民活動支援センター事業展開ガイドライン、とつか区民活動センター事業実施要綱

（施設概要等）

名　称（開設年月日）	所在地	構造	施設内容
とつか区民活動センター（平成21年３月31日）	戸塚区川上町91－1 モレラ東戸塚３階	238.16㎡	事務室、会議室、作業スペース、情報コーナー等
戸塚区役所３階 情報コーナー（平成25年３月11日）	戸塚区戸塚町16－17 戸塚区役所３階	区民広間の一部	情報コーナー、パソコンコーナー、相談コーナー、打ち合わせスペース

（積算内訳）　（単位：千円）

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】				
管理運営経費	35,234	35,234	0	
13節(4)企画調査その他委託料	24,743	24,743	0	前年度同額
14節(1)使用料及び賃借料	10,491	10,491	0	前年度同額
＜管理費（公共料金）＞	0	0	0	
合計	35,234	35,234	0	

資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	係
	卯都木　隆幸	平中　文朗	安藤　晋也

（　戸塚 区 － 支 ）

（様式４－１）

平成30年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

［　戸塚　区　土木事務所 ］

（単位：千円）

事業区分	土木事務所	施設区分	土木事務所	担当	土木事務所　管理 係 担当者：　唐澤　TEL　881-1621

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本　年　度	11,234		66			11,168
前　年　度	11,315		72			11,243
増△減	△ 81	0	△ 6	0	0	△ 75

事業評価書番号	4
事業評価書番号	

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	9,599	10,500	10,736
	メリット＋一般財源	9,543	10,433	10,668
決算	事業費	9,178	9,982	10,341
	メリット＋一般財源	9,107	9,909	10,275

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	11,033	11,033
	一般財源	10,967	10,967

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
(無)

（事業目的・概要）

戸塚 土木事務所の庁舎及び車両の管理運営を行います。

（根拠法令等）

消防法、建築基準法、駐車場法、道路運送車両法、租税特別措置法、横浜市庁舎管理規則
建築物における衛生的環境の確保に関する法律、横浜市公有財産規則、横浜市駐車場条例等

（施設概要等）

施設	名　称 （開設年月日）	所在地	構造	施設内容
土木事務所	戸塚土木事務所 （昭和54年４月）	戸塚区戸塚2974-1	地上２階ＲＣ造	庁舎・事務用
土木事務所車両	監督車15台、作業車５台、パトカー１台			

（積算内訳）　（単位：千円）

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】				(28年度決算)
光熱水費負担金	55	55	0	55,281円
古紙売却収入	11	17	△ 6	10,592円
合計	66	72	△ 6	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】				
＜管理運営＞	2,947	2,777	170	
11節(4)印刷製本費	4	4	0	前年度同額
12節(1)通信運搬費	118	0	118	実績の増
	衛生携帯電話			
12節(4)手数料	270	100	170	実績の増
13節(1)清掃設備保守委託料	2,191	2,109	82	
設備等保守点検委託	826	826	0	
清掃、ごみ処理等	1,365	1,283	82	実績の増
13節(4)企画調査その他委託料	300	500	△ 200	実績の減
14節(1)使用料及び賃借料	64	64	0	前年度同額
	AED賃借料			
＜管理費（公共料金）＞	3,647	3,907	△ 260	実績の減
＜公用車管理運営＞	4,640	4,631	9	
11節(2)燃料費	250	250	0	前年度同額
14節(1)使用料及び賃借料	4,350	4,341	9	
監督車	2,133	2,124	9	実績の増
作業車	1,646	1,646	0	前年度同額
パトカー	571	571	0	前年度同額
27節(1)公課費	40	40	0	
自動車重量税	40	40	0	前年度同額
合計	11,234	11,315	△ 81	

	課長	係長	管理係
本資料は、公正・適正に作成しました。	白井　一彦	中山　一男	唐澤　秀紀

（　戸塚 区 － 土 ）

（様式４－１）

平成30年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

［　戸塚　区　地域振興　課］　　（単位：千円）

事業区分	公会堂	施設区分	公会堂	担当	地域振興 課　地域活動 係
					担当者：　栗原　TEL　866－8415

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	30,858					30,858
前　年　度	30,883					30,883
増△減	△ 25	0	0	0	0	△ 25

事業評価書番号	7
事業評価書番号	

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	992	1,025	34,526
	メリット＋一般財源	992	1,025	34,526
決算	事業費	977	881	34,742
	メリット＋一般財源	904	881	34,742

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	30,858	30,858
	一般財源	30,858	30,858

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

（事業目的・概要）
公会堂の建物維持管理を実施します。

（根拠法令等）

横浜市公会堂条例、横浜市公会堂条例施行規則

（施設概要等）

名　称（開設年月日）	所在地	構造	施設内容
戸塚公会堂（昭和53年10月11日）	戸塚区戸塚町127	RC造地下３階地上４階 延床面積1,578㎡	講堂：収容人員568人 会議室：２

（積算内訳）　　（単位：千円）

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】				（28年度決算）
光熱水費負担金			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】				
＜管理運営＞	0	0	0	
11節(1)消耗品費			0	
12節(4)手数料			0	
13節(1)清掃設備保守委託料	0	0	0	
設備等保守点検委託			0	
清掃、ごみ処理等			0	
18節(1)庁内備品費			0	
18節(51)【資産】庁内備品費			0	
＜管理費（公共料金）＞	0	0	0	
＜指定管理運営＞	30,858	30,883	△ 25	
13節(2)指定管理者委託料	30,858	30,883	△ 25	
《参考》				
人件費	11,100	11,100	0	前年度同額
事務費・事務経費	5,322	5,322	0	前年度同額
管理費	23,958	23,958	0	前年度同額
消費税	1,700	1,700	0	前年度同額
その他	60	60	0	前年度同額
利用料金に係る預かり消費税の補てん額	288	313	△ 25	実績の減
その他収入	△ 570	△ 570	0	前年度同額
利用料金収入	△ 11,000	△ 11,000	0	前年度同額
合計	30,858	30,883	△ 25	

	課長	係長	地域活動係
本資料は、公正・適正に作成しました。	卯都木　隆幸	伊藤　悟	栗原　聡一朗

（　戸塚 区 － 公 ）

(様式４－1)

平成30年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

［　戸塚　区　地域振興　課］

（単位：千円）

事業区分	区民利用施設	施設区分	地区センター他（委託館分）	担　当	地域振興　課　　地域活動 係
					担当者：　栗原　　℡　866－8415

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	391,477		72			391,405
前　年　度	390,001		72			389,929
増△減	1,476	0	0	0	0	1,476

事業評価書番号	8
事業評価書番号	

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	400,545	399,387	391,027
	メリット＋一般財源	400,545	399,387	391,027
決算	事業費	400,566	401,309	389,923
	メリット＋一般財源	400,566	401,309	389,850

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	394,373	394,373
	一般財源	394,373	394,373

方針に関する決裁　種別()
有（　年　月）　・　(無)

(事業目的・概要・根拠法令、施設概要等)

別紙施設一覧のとおり

(積算内訳)

（単位：千円）

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】				
目的外使用料（広告マット）	54	54	0	54,432円
目的外使用料（広告ラック）	18	18	0	18,600円
計	72	72		
【歳出】				
指定管理者制度導入施設	**345,145**	**345,210**	**△ 65**	
13節(2)指定管理者委託料	343,195	343,183	12	
地区センター	238,973	238,961	12	
大正地区センター	32,193	32,192	1	提案額の増
東戸塚地区センター	38,867	38,870	△ 3	提案額の減
上矢部地区センター	35,163	35,162	1	提案額の増
戸塚地区センター	61,242	61,239	3	提案額の増
舞岡地区センター	35,897	35,884	13	提案額の増
踊場地区センター	35,611	35,614	△ 3	提案額の減
こどもログハウス踊場	7,940	7,940	0	前年度同額
老人福祉センター戸塚柏桜荘	42,552	42,552	0	前年度同額
コミュニティハウス	13,730	13,730	0	
倉田	13,730	13,730	0	前年度同額
スポーツセンター	40,000	40,000	0	前年度同額
その他経費	1,950	2,027	△ 77	
14節（1）使用料及び賃借料	1,950	2,027	△ 77	実績の減（上矢部地区センター駐車場代）
13節（4）企画調査その他委託料	0	0	0	
その他管理委託施設	**46,332**	**44,791**	**1,541**	
13節(10)区民利用施設運営委託料	46,332	44,791	1,541	
コミュニティハウス	46,332	44,791	1,541	
深谷小	4,168	4,081	87	契約予定額の増
東汲沢小	8,457	8,287	170	契約予定額の増
平戸台小	8,457	8,432	25	契約予定額の増
名瀬中	8,457	8,364	93	契約予定額の増
秋葉中	4,168	4,011	157	契約予定額の増
柏尾小	4,168	4,150	18	契約予定額の増
下郷小	8,457	7,466	991	契約予定額の増
合　計	391,477	390,001	1,476	

	課長	係長	地域活動係
本資料は、公正・適正に作成しました。	卯都木　隆幸	伊藤　悟	栗原　聡一朗

（　戸塚 区 － 施 ）

(様式４－1)

平成30年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[　戸塚　区　地域振興　課]　　(単位：千円)

事業区分	区民利用施設	施設区分	広場・遊び場	担当	地域振興　課　　地域活動 係
					担当者：　古田　　TEL　866－8415

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	1,376					1,376
前　年　度	1,472					1,472
増△減	△ 96	0	0	0	0	△ 96

事業評価書番号	9
事業評価書番号	

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	1,471	1,506	1,506
	メリット＋一般財源	1,471	1,506	1,506
決算	事業費	924	1,130	1,170
	メリット＋一般財源	924	1,130	1,170

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	1,376	1,376
	一般財源	1,376	1,376

方針に関する決裁　種別()
有（　年　月）　・　(無)

(事業目的・概要・根拠法令、施設概要等)

別紙施設一覧のとおり

(積算内訳)　　(単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
13節　委　託　料	**650**	**712**	**△ 62**	実績及び1か所廃止による減
(4)企画調査その他委託料				
遊具点検の委託	650	712	△ 62	
13節　委　託　料	**522**	**556**	**△ 34**	
(10)区民利用施設運営委託料				
子どもの遊び場管理運営委託 13箇所	442	476	△ 34	1か所廃止による減
シルバー健康広場管理運営委託 2箇所	80	80	0	前年度同額
16節　原材料費	**63**	**63**	**0**	前年度同額
19節　補助金	**《141》**	**《141》**	**《0》**	
(11)町のはらっぱ運営費等補助金				
町のはらっぱ管理運営補助	《141》	《141》	《0》	前年度同額
合　計	1,376	1,472	△ 96	

	課長	係長	地域活動係
本資料は、公正・適正に作成しました。	卯都木　隆幸	伊藤　悟	古田　汀

(　戸塚 区 － 広)

（様式４－１）

平成30年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

［　戸塚　区 総務課・地域振興課・土木事務所 ］　　（単位：千円）

事業区分	区庁舎・区民利用施設修繕費	施設区分	区庁舎 / 土木事務所 / 区民利用施設	担　当	総務 課　予算調整 係 担当者：　磯田　TEL　866-8306 土木事務所　管理 係 担当者：　唐澤　TEL　881-1621 地域振興 課　地域活動係 係 担当者：　栗原　TEL　866-8415

区　分	金　額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本　年　度	5,550					5,550
前　年　度	6,900					6,900
増△減	△ 1,350	0	0	0	0	△ 1,350

事業評価書番号	6
事業評価書番号	

歳出		26年度	27年度	28年度
予算	事業費	5,000	7,500	7,500
	メリット＋一般財源	5,000	7,500	7,500
決算	事業費	4,178	4,743	9,799
	メリット＋一般財源	4,178	4,743	9,799

歳出		31年度	32年度
予算	事業費	5,550	5,550
	一般財源	5,550	5,550

方針に関する決裁　種別（　）
有:件名（）、日付（　年　月）
（無）

（事業目的・概要）
　区庁舎・区民利用施設に関する設備の修繕に対応します。

（根拠法令等）
　横浜市庁舎管理規則等

（積算内訳）　　（単位：千円）

項目	本年度	前年度	増△減	説明
＜区庁舎等＞	1,100	2,100	△ 1,000	
区庁舎	200	1,000	△ 800	実績の減
駐車場				
行政サービスコーナー	200	100	100	実績の増
公用車	700	1,000	△ 300	実績の減
（うち税務車両）	174	237	△ 63	実績の減
＜土木事務所関連＞	550	500	50	
土木事務所	350	100	250	実績の増
車両	200	400	△ 200	実績の減
＜区民利用施設＞	3,900	4,300	△ 400	
公会堂	600	1,000	△ 400	実績の減
地区センター等	1,500	2,000	△ 500	実績の減
こどもログハウス	100	0	100	実績の増
老人福祉センター	100	200	△ 100	実績の減
コミュニティハウス	600	100	500	実績の増
広場・遊び場	1,000	1,000	0	前年度同額
合計	5,550	6,900	△ 1,350	

資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	予算調整係
	齋藤　真奈美	松隈　さやか	磯田　直輝

（　戸塚 区 － 修 ）

区民利用施設施設概要等一覧（委託・補助）

概要（戸塚）区

種別	事業目的・概要	根拠法令等	名称	所在地	構造	施設内容	管理運営団体		開館年月日
地区センター	管理運営を管理運営団体に委託します。	横浜市地区ｾﾝﾀｰ条例	戸塚	戸塚町127	RC造地下3階地上4階 延床面積 1,776.1㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者	公益社団法人とつか区民活動支援協会	昭和53年10月11日
			大正	原宿３-59-１	RC造地上2階 延床面積 1,881㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者	公益社団法人とつか区民活動支援協会	昭和56年12月11日
			東戸塚	川上町４-４	RC造地下1階地上2階 延床面積 1,869.3㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成1年10月28日
			上矢部	上矢部町2342	RC造地上5階 延床面積 1,950㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者	NPOみんなのまちづくりクラブ・NPO建物管理ネットワーク	平成5年5月11日
			舞岡	舞岡町3020-１	RC造地下1階地上2階 延床面積 1,821.8㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者	公益財団法人横浜ＹＭＣＡ	平成10年5月30日
			踊場	汲沢二丁目23番１号	RC造地上2階 延床面積 1,775.2㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者	公益財団法人横浜ＹＭＣＡ	平成16年2月15日
こどもログハウス	管理運営を管理運営団体に委託します。	都市公園法第2条第2項 横浜市公園条例、横浜市青少年施設条例	踊場公園	汲沢８-11	木造２階建地下１階 205.33㎡	滑り台、登り棒、地下迷路他	指定管理者	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成3年6月1日
老人福祉センター	管理運営を管理運営団体に委託します。	老人福祉法、横浜老人福祉条例	戸塚柏桜荘	戸塚町2304-５	ＲＣ造 地上２階建 延床面積1,669㎡	大広間・機能回復訓練室 生きがい作業室・会議室	指定管理者	社会福祉法人朋光会	平成2年6月14日
老人憩いの家	管理運営を管理運営団体に委託します。	老人福祉法、横浜老人福祉条例、横浜市老人憩いの家運営要綱	―	―	―	―	―	―	平成16年度で廃館
コミュニティハウス	管理運営を管理運営団体に委託します。	ｺﾐｭﾆﾃｨｽｸｰﾙ事業に関する基本事項 ｺﾐｭﾆﾃｨﾊｳｽ整備基本方針 ｺﾐｭﾆﾃｨﾊｳｽ（学校施設活用型）の設置に関する要綱	深谷小	深谷町1688-２	学校開放施設　概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成2年4月26日
			東汲沢小	汲沢１-16-１	学校開放施設　概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成4年4月18日
			平戸台小	平戸町1165	学校開放施設　概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成4年4月30日
			名瀬中	名瀬町791-６	学校開放施設　概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成5年6月20日
			秋葉中	秋葉町271-３	学校開放施設　概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成9年4月30日
			柏尾小	柏尾町1317	学校開放施設　概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成11年4月24日
			下郷小	戸塚町2447-２	学校開放施設　概ね300㎡	中小会議室、和室他		公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成13年5月1日
		横浜市地区ｾﾝﾀｰ条例	倉田	上倉田町1867	RC造地上2階建　342㎡	中小会議室、和室他	指定管理者	社会福祉法人　開く会	平成18年10月15日
スポーツセンター	管理運営を管理運営団体に委託します。	横浜市スポーツ施設条例	戸塚	上倉田町477	鉄骨鉄筋コンクリート造２階建延床面積 3,975㎡	体育室２室、トレーニング室、研修室他	指定管理者	公益財団法人横浜市体育協会	昭和59年4月1日
子供の遊び場	管理運営を管理運営委員会に委託します。	横浜市遊び場要綱	遣ケ谷	上倉田町135	1,607.0㎡	ブランコ，シーソー		地元管理運営委員会	昭和50年
			子之八幡社	上倉田町977	366.0㎡	ブランコ，滑り台等		地元管理運営委員会	昭和36年
			新生会第二	汲沢７-35-12	1,011.0㎡	ブランコ，滑り台等		地元管理運営委員会	昭和53年
			東明会	汲沢２-17	221.0㎡	ブランコ		地元管理運営委員会	昭和54年
			品川団地	小雀町417	205.0㎡	ブランコ，滑り台等		地元管理運営委員会	昭和44年
			小雀	小雀町1193	1,980.0㎡	ブランコ，滑り台等		地元管理運営委員会	昭和29年
			名瀬一丁目	名瀬町272	231.0㎡	ブランコ，滑り台等		地元管理運営委員会	昭和38年
			名瀬町	名瀬町1773	201.0㎡	ブランコ，滑り台		地元管理運営委員会	昭和46年
			俣野町神明社	俣野町1277	600.0㎡	ブランコ，滑り台等		地元管理運営委員会	昭和46年
			舞岡台	南舞岡４-15	1,470.0㎡	ブランコ，滑り台等		地元管理運営委員会	昭和49年
			踊場	矢部町1626	284.0㎡	ブランコ，滑り台		地元管理運営委員会	昭和37年
			谷矢部東	矢部町871-37	112.0㎡	滑り台，シーソー等		地元管理運営委員会	昭和62年
			矢部町（柳作）	矢部町970-２	276.0㎡	ブランコ，滑り台等		地元管理運営委員会	昭和62年
町のはらっぱ	地元管理運営委員会に対し補助金を支出します	横浜市広場・はらっぱ要綱 区広場・はらっぱ補助金交付要綱	三角広場	原宿４-22	2,829.60㎡			地元管理運営委員会	平成５年
			打越グラウンド	吉田町1335－1	2,423㎡			地元管理運営委員会	平成18年
			星谷広場	舞岡町285番	1,230㎡			地元管理運営委員会	平成23年
シルバー健康広場	管理運営を管理運営委員会に委託します。	区シルバー健康広場整備並びに管理運営委員会設置要綱	川上第一団地	川上町406-６	1,461.25㎡	ゲートボール場		地元管理運営委員会	平成18年
			柏尾野外活動	柏尾町757	2,145.00㎡	ゲートボール場		地元管理運営委員会	昭和60年